

平成29年度
高知県立高等学校

学校概要

平成29年6月

高等学校課

目 次

室戸高等学校…………… 1	伊野商業高等学校…………… 2 7
同 定時制…………… 2	春野高等学校…………… 2 8
中芸高等学校（定時制昼間部） …… 3	高岡高等学校…………… 2 9
同 （定時制夜間部） …… 4	同 定時制…………… 3 0
安芸高等学校…………… 5	高知海洋高等学校…………… 3 1
安芸桜ヶ丘高等学校…………… 6	須崎工業高等学校…………… 3 2
城山高等学校…………… 7	須崎高等学校…………… 3 3
山田高等学校…………… 8	同 定時制…………… 3 4
同 定時制…………… 9	佐川高等学校…………… 3 5
嶺北高等学校…………… 1 0	同 定時制…………… 3 6
高知農業高等学校…………… 1 1	窪川高等学校…………… 3 7
高知東工業高等学校…………… 1 2	禰原高等学校…………… 3 8
同 定時制…………… 1 3	四万十高等学校…………… 3 9
岡豊高等学校…………… 1 4	大方高等学校
高知東高等学校…………… 1 5	（全日制単位制1年生、定時制昼間部2・3年生） …… 4 0
高知南高等学校…………… 1 6	同 （定時制夜間部） …… 4 1
高知工業高等学校…………… 1 7	同 （通信制） …… 4 2
同 定時制…………… 1 8	幡多農業高等学校…………… 4 3
高知追手前高等学校…………… 1 9	中村高等学校…………… 4 4
同 吾北分校…………… 2 0	同 西土佐分校…………… 4 5
高知丸の内高等学校…………… 2 1	宿毛工業高等学校…………… 4 6
高知小津高等学校…………… 2 2	宿毛高等学校…………… 4 7
高知北高等学校（定時制昼間部） …… 2 3	同 定時制…………… 4 8
同 （定時制夜間部） …… 2 4	清水高等学校…………… 4 9
同 （通信制） …… 2 5	同 定時制…………… 5 0
高知西高等学校…………… 2 6	

高知県立室戸高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	室戸市室津 2 2 1 番地	アクセス	高知県庁より 8 0 km (車で 2 時間) 高知東部交通室戸高校前バス停下車すぐ
TEL	0 8 8 7 - 2 2 - 1 1 5 5		
通学方法	徒歩 2 名、自転車 102 名、JR 0 名、バス 21 名、バイク 0 名、その他 27 名		
生徒数	総合学科 合計 (152 名) 1 学年/年次 (41) 名・2 学年/年次 (49) 名・3 学年/年次 (62) 名		
校訓 および 校章	校訓 真・善・美 		校章  <p>昭和 2 9 年制作、室戸の力強く若さに満ちて湧き踊る波と、団結と明るさに満ちた若者を象徴したものです。 (制作者) 島村 義一 氏</p>
			創立 7 1 年 スクールカラー 紺色
沿革	S21 高知県立室戸中学校同高等女学校創設 S23 高知県立室戸高等学校に改称 H 9 総合学科設置 H10 特別教室棟完成 H13 第 2 グランド完成 H14 寄宿舎棟完成 H26 総合学科 4 系列 H28 創立 70 周年式典挙行	(沿革コメント) 昭和 21 年に郷土における若者の教育と人材の育成を目指して創設される。 昭和 23 年、学制改革により高知県立室戸高等学校と改称する。 平成 9 年に高知県で初めての総合学科高校となる。 平成 26 年度入学生より、文理総合、生活福祉、機械技術、IT・アートの 4 系列をおき、現在に至る。	
基本情報	教育方針 人格の完成を目指し、真理を愛し、勤労と責任を重んじ、文化的民主国家の形成者を育成する。 ① 個性や自主性の伸長 ② 基礎・基本的な学習事項の定着と学力の向上 ③ 基本的生活習慣の確立 ④ 一人ひとりの進路志望達成を目指す指導の充実 ⑤ 家庭、中学校、地域との連携の強化 ⑥ 危機管理体制づくりと生徒の安全管理・安全教育の充実		
	進路状況 ・大学 15 名 (33%) (内 国公立大学 6 名)・短大 4 名 (9%) ・専修等 14 名 (30%)・就職県内 7 名 (15%)・就職県外 5 名 (11%) ・その他 1 名 (2%)		
	部活動 体育系 10 部、文化系 10 部 野球、女子野球、卓球、陸上、バスケットボール、弓道、バドミントン、ハンドボール、サッカー、バレーボール、音楽、吹奏楽、茶道、華道、美術、書道、機械製作、ホームメイド、パソコン		
	主な出身中学 1. 室戸中 2. 佐喜浜中 3. 羽根中 4. 吉良川中 5. 北川中		
学校の特徴	教職員数 教員 (期講及び時講含) 32 名・実習助手 (期付含) 1 名・事務職員等 5 名		
	本校は、文理総合、生活福祉、機械技術、IT・アートの系列をもつ総合学科高校です。個性の伸長と一人ひとりの進路希望に対応できるよう、多くの選択科目を設置しています。また、自己の生き方や進路に対する自覚、将来の職業選択に必要な能力・態度を養うために実践的・体験的な学習を重視しています。選択科目に応じて、種々の資格取得が可能です。資格によっては単位の認定が認められます。 1 年次の「産業社会と人間」では、将来の職業選択や科目選択、進路に関するガイダンスをおこない、2 年次の「続・産業社会と人間」で、インターンシップを通じ、職業観を身に付けさせます。3 年次の「課題研究」では、生徒自身が自ら課題を見つけ、問題解決能力を身に付けさせます。自由選択授業では、室戸の地質遺産、歴史、地理、産業等を教材として、生徒が主体的に観察、実習に取り組み、科学的に探究する「ジオパーク学」を設置しています。		

(平成 2 9 年 5 月 1 日現在)

高知県立室戸高等学校
(定時制 普通科)

所在地	室戸市室津 2 2 1 番地	アクセス	高知県庁より 8 0 km (車で 2 時間) 高知東部交通室戸高校前バス停下車すぐ	
TEL	0 8 8 7 - 2 2 - 1 1 5 5			
通学方法	徒歩 0 名、自転車 8 名、JR 0 名、バス 0 名、バイク 1 名、その他 8 名			
生徒数	普通科 (1 7 名) 合計(1 7 名) 1 学年/年次 (9) 名・2 学年/年次 (2) 名・3 学年/年次 (5) 名・4 年次 (1) 名			
校訓 お よ び 校 章	校訓 真・善・美 		校章  <p>昭和 2 9 年制作、室戸の力強く若さに満ちて湧き踊る波と、団結と明るさに満ちた若者を象徴したものです。 (制作者) 島村 義一 氏</p>	
			創立 6 9 年	スクールカラー 紺色
沿革	S23 室戸高校吉良川分校として認可 S23 始業式を行う 普通科 1 6 名 被服別科 2 0 名 S57 吉良川分校廃校 S57 室戸高校本校に定時制課程とし併設		(沿革コメント) 室戸高校定時制は、当初吉良川分校定時制として、吉良川地区の勤労青年を対象に、吉良川小学校の片隅に開校した。校舎は木造の粗末なもので、人件費以外はすべて市町村負担であり、教育環境は必ずしも十分ではなかった。しかし、地元青年にとっては働きつつ学べるかけがえのない学校であった。そのため、昭和 40～50 年代の各地の分校廃止の中、本校併設として存続し、現在に至っている。	
基本情報	教育方針および教育重点目標 知・徳・体のすべてに調和のとれた人格の完成を目指し、真理を愛し、勤労と責任を重んじ、文化的民主国家の形成者を育成する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 学習に励む習慣を身に付け、学力の向上に努める 2 人権教育の推進を図り、豊かな人間関係の育成に努める 3 基本的生活習慣の確立に努める 4 勤労と学習の両立を図り、活力ある学園づくりに努める 5 自己実現のための支援に努める 6 家庭、中学校、地域との連携の強化に努める 			
	進路状況 ・大 学 0 名 (0 %) (内 国公立大学 0 名)・短 大 0 名 (0 %) ・専修等 1 名 (3 3 %)・就職県内 1 名 (3 3 %)・就職県外 0 名 (0 %) ・専攻科 0 名 (0 %)・その他 1 名 (3 3 %)			
	部活動 体育系 3 部 (バドミントン部・卓球部・陸上部)			
	主な出身中学 1. 室戸中 2. 吉良川中 3. 奈半利中 4. 野根中 5. 佐喜浜中			
学校の特徴	教 職 員 数 教員 (期講及び時講含) 1 0 名・実習助手 (期付含) 0 名・事務職員等 1 名			
	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は、働きながら学ぶことを前提とした、夜間定時制の学校です。 ・学校は、高知県室戸市に所在し、勤労と学習の両立、自己実現に向け主体的に行動できる生徒の育成を目指し、教員と生徒双方が学校生活の充実にも努めています。また、開かれた学校づくりの一環として開放講座や聴講制度を実施することにより、地域の方々をはじめ、多くの社会人の方々が授業に参加しています。こうした人達とのふれあいを通して、コミュニケーション力の向上や社会性の育成に繋げています。 ・本校では、キャリア教育を推進するにあたって、①学ぶ意識の改善、②社会性の育成、③豊かな心の育成を三本柱として、学校経営に取り組んでいます。 			

(平成 2 9 年 5 月 1 日現在)

高知県立中芸高等学校
(定時制 [多部制単位制 昼間部] 普通科)

所在地	安芸郡田野町1203-4	アクセス	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅から徒歩5分
TEL	0887-38-2914		
通学方法	徒歩3名、自転車14名、鉄道17名、バス3名、その他13名		
生徒数	普通科50名 1年次11名・2年次25名・3年次14名		
校訓および校章	校訓 「自主創造」「中正温雅」 高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材の育成を目指します。 		校章  昭和23年、菱形に高等学校の高の字に田野学館の館旗の白線を図案化し、田野学館の学風を受け継ぐ願いを表した。 創立69年
	沿革 S23 高知県安芸郡中芸高等学校(田野町外五ヶ町村組合立) S25 高知県立中芸高等学校となる(全日制普通科課程) S29 定時制(夜間課程)が開校する S50 現校舎新築落成 H7 大規模木造格技場改築落成 H18 多部制単位制高校に改編する(定時制普通科課程)		スクールカラー スカイブルー (沿革コメント) 中芸高校は、江戸時代藩校田野学館があった場所に、昭和23年田野町を中心に羽根・奈半利・北川・安田・馬路の六ヶ町村の人々の「地域の青少年の為に地元で学べる高等学校をつくらう」という熱意によって、つくられました。 現在は、同一校舎内に山田養護学校田野分校も設置され、夜間部で学ぶ地域の聴講生も含めると、同じ学校で、小学生から70歳を過ぎた高齢者までが学ぶ学校となっています。
基本情報	教育方針(教育重点目標) 1 生徒一人ひとりの基本的な生活習慣の定着と学力の向上 2 生徒や保護者の進路希望の実現 3 生徒理解と教育相談の充実		
	進路状況 大学 6名(29%)〈内 国公立大学1名(高知大)〉 短大2名(9%) 専修等 6名(29%) 就職県内 6名(29%)・就職県外0名(0%) その他1名(4%)		
	部活動 体育系 4部、文化系 4部 昨年度(H28)、陸上競技部、卓球部、バドミントン部、女子バレー部が定通の全国大会に出場。		
	主な出身中学 1. 奈半利中 2. 県立安芸中 3. 北川中 清水ヶ丘中 5. 市立安芸中 野市中		
	教職員数 教員(期講及び時講含) 19名・事務職員等 3名		
学校の特色	○ 中芸高校は、単位制の普通科高等学校です。定時制昼間部、夜間部があります。 ○ 必履修科目を履修し、合計74単位分の教科科目を修得すれば卒業できます。 ○ 1, 2年次生は、学年次の枠を越えた縦割りホーム編成を行っています。 ○ 一人ひとりの興味・関心や進路希望に応えられ、様々な生徒に対応できます。 ○ 学校外の学修(ボランティア活動や資格取得など)の成果も卒業に必要な単位とすることができます。 ○ 普通科・科目を中心とし、多様な選択科目を設定しています。 ○ 本校内に設置された県立山田養護学校田野分校との交流をはかり、生徒同士が互いに認め合い、共生できる学校づくりを進めます。		

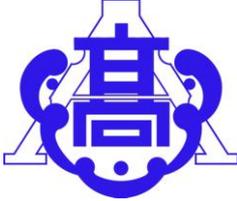
(平成29年5月1日現在)

高知県立中芸高等学校
(定時制 [多部制単位制 夜間部] 普通科)

所在地	安芸郡田野町1203-4	アクセス	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅から徒歩5分
TEL	0887-38-2914		
通学方法	乗用車2名、バイク4名、自転車5名、鉄道4名、その他2名（保護者送迎等）		
生徒数	普通科17名 1年次6名・2年次4名・3年次2名・4年次5名		
校訓および校章	校訓 「自主創造」「中正温雅」 高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材の育成を目指します。 		校章  昭和23年、菱形に高等学校の高の字に田野学館の館旗の白線を凶案化し、田野学館の学風を受け継ぐ願いを表した。
	下駄割り坂から		創立69年 スクールカラー スカイブルー
沿革	S23 高知県安芸郡中芸高等学校（田野町外五ヶ町村組合立） S25 高知県立中芸高等学校となる（全日制普通科課程） S29 定時制（夜間課程）が開校する S50 現校舎新築落成 H7 大規模木造格技場改築落成 H18 多部制単位制高校に改編する（定時制普通科課程）		(沿革コメント) 中芸高校は、江戸時代藩校田野学館があった場所に、昭和23年田野町を中心に羽根・奈半利・北川・安田・馬路の六ヶ町村の人々の「地域の青少年の為に地元で学べる高等学校をつくらう」という熱意によって、つくられました。 現在は、同一校舎内に山田養護学校田野分校も設置され、夜間部で学ぶ地域の聴講生も含めると、同じ校舎で、小学生から70歳を過ぎた高齢者までが学ぶ学校となっています。
基本情報	教育方針（重点目標） 1 学力の向上につながる授業規律の確立 2 地域に根差した学校として「リカレント教育」の推進 3 希望が実現される進路指導や就労への指導の推進		
	進路状況 平成28年度 （進学）高知理容美容専門学校 （就職）介護老人保健施設あさひ		
	部活動 陸上競技で定時制通信制の全国大会に出場。		
	主な出身中学 1. 田野中 2. 北川中 3. 奈半利中 4. 清水ヶ丘中		
	教職員数 教員（期講及び時講含）12名・事務職員等 1名		
学校の特色	○ 選択科目の中から自分で授業を選べます。 ○ 必修科目を履修し、合計74単位の教科科目を修得すれば卒業できます。 ○ 定通併修制度を活用することにより3年間で卒業することも可能です。 ○ 学校外の学修（ボランティア活動や資格取得など）の成果も卒業に必要な単位とすることができます。 ○ 生涯学習の一環としてリカレント教育（聴講生制度）を実施しています。地域の社会人と一緒に授業を受講することで、お互いに刺激しあい学習意欲が高まります。 ○ 東部地域で唯一の米飯給食（有償）を実施しています。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立安芸高等学校
(全日制 普通科)

所在地	安芸市清和町1-54	アクセス	ごめん・なはり線安芸駅から徒歩15分
TEL	0887-34-1145		
通学方法	徒歩30名、自転車96名、列車55名、バス54名、その他25名		
生徒数	普通科(260名) 1学年(96名)・2学年(81名)・3学年(83名)		
校訓 および 校章	校訓 努力・信愛 教育理念 「人と生まれたゆえを思え 徳と知識の探究ぞ」 —ダンテ— 		校章  <p>安芸のアルファベットAに太平洋の波しぶき、高等学校の高をデザイン化したものです。</p>
	沿革 1900年高知県立第一中学校分校として開校 1903年高知県立第三中学校として独立(1920年高知県立安芸高等女学校開校) 1922年高知県立安芸中学校と改称 1949年高知県立安芸高等学校・高知県立安芸女子高等学校を統合し、高知県立安芸高等学校となる 2002年高知県立安芸中学校を併設	創立 118年 スクールカラー 紺 (太平洋の象徴)	
基本情報	教育方針 「中・高等学校教育の目的」の実現を期し、平和な国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を育成する。 教育目標 1 真理と正義を愛する 2 勤労と責任を重んずる 3 自他の敬愛と協力を尊ぶ 4 知性と情操を高め、心身の健康を増進する		
	進路状況 (平成28年度卒業生112名) ・大学64名(57.2%) <内、国公立大学21名> ・短大9名(8.0%) ・専修各種25名(22.3%) ・就職8名(7.1%) ・その他6名(5.4%) 【主な合格大学名】 岡山大、徳島大、高知大、高知県立大、高知工科大、宮城大、尾道市立大、早稲田大、上智大、明治大、中央大、法政大、日本大、東洋大、東京福祉大、帝京大、名城大、中京大、京都橘大、関西大、立命館大、近畿大、桃山学院大、神戸学院大、神戸女子大、美作大、就実大、岡山理科大、広島国際大、広島工業大、広島経済大、松山大、四国大、徳島文理大 など		
	部活動(同好会を含む) 体育系15部、文化系13部 部活動加入率80.4%(体育系54.2%、文化系26.2%) 平成28年度全国高等学校総合体育大会・総合文化祭出場 陸上競技部、体操競技部、美術部、書道部、計算実務・ワープロ部、小倉百人一首 その他の全国大会出場 少林寺拳法		
	主な出身中学 1 県立安芸中 2 清水ヶ丘中 3 安芸中 4 羽根中・芸西中 教職員数 教員(期講及び時講含)45名・主任実習助手1名・実習助手1名・事務職員等8名		
学校の特徴	○118年の歴史と伝統を誇り、文武両道の精神に基づき、恵まれた環境と充実した施設・設備のもと、県立安芸中学校を併設し、中高一貫教育を推進するなど、時代の変化に対応した教育を推進しています。 ○高知県東部の進学拠点校として、大学進学に重点を置き、生徒一人ひとりの能力・適性・興味・関心に応じて、きめ細かな学習・進路・生活指導を実践しています。 ○特色ある学校行事や体育系・文化系の各部活動を充実させ、自主性と創造性を育成しています。毎年、文化講演会や芸術鑑賞会など文化的行事を開き、最先端の学問や良質の芸術に触れる機会を設け知的好奇心を高めています。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立安芸桜ヶ丘高等学校
(全日制 環境建設科・環境エネルギー科・情報ビジネス科)

所在地	安芸市桜ヶ丘町784番地	アクセス	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 安芸球場前下車徒歩3分
TEL	0887-35-2020		
通学方法	徒歩8名、自転車73名、JR14名、電車0名、バス2名、バイク0名、その他12名		
生徒数	環境建設科43名、環境エネルギー科17名、情報ビジネス科49名 合計(109名) 1学年/年次(38)名・2学年/年次(27)名・3学年/年次(44)名		
校訓および校章	校訓「誠実」 人は何事にも誠実であると同時に自分に対しても誠実でなければならない。「おごらず」、「怠けず」、自分の心にまじめに取り組む姿勢を常に忘れてはいけない。		校章 安芸周辺を望む黒潮の「波頭」と群生する「桜」の花弁をモチーフに、その中に高等学校の頭文字「高」を配し、2つの波頭は「工業教育と商業教育」を表している。 (制作者：井口やすひさ氏)
	 校舎玄関付近		 創立51年 スクールカラー 緑
沿革	(沿革コメント) 本校は工業技術の発展によって成り立つわが国の繁栄と発展のため、高知県東部地域唯一の工業技術者育成の教育機関として、産業界をはじめ各方面から期待されて発足した。平成4年には地域の強い要望で建築科を建設科とし、土木専攻と建築専攻を配置するなど、常に時代と社会のニーズに即した教育内容を展開し、地域や産業界の要望に応える多数の優れた卒業生を輩出してきた。平成14年から工業教育に加え、商業教育も導入することによって、幅広い学習内容を展開し、よりバランスのとれた産業人の育成を目指す情報ビジネス科を新設した。		
基本情報	教育方針 教育基本法の精神に則り心身共に健全な産業人として社会発展に貢献し得る人材の育成を期する。 1 勤労と責任を重んずる 2 礼儀と秩序を尊ぶ 3 創意工夫に努める		
	進路状況 ・大学 0名(0%)〈内 国公立大学 0名〉・短大 2名(4.3%) ・専修等 11名(23.4%)・就職県内 16名(34.0%)・就職県外 15名(31.9%) ・専攻科 0名(0%)・その他 3名(6.4%) 例年比で多少の差異はあるものの、就職・進学割合はほぼ例年通りと判断している。また数年ぶりに4年制大学進学者がいなかった一方で、東証1部上場企業への就職者が増えた。		
	部活動 体育系9部、文化系7部、同好会0部 ○陸上部(投擲)：四国大会出場 ○ビジネス応援部：「ご当地!絶品うまいもん甲子園」全国大会出場		
	主な出身中学 1. 市立安芸中 2. 清水ヶ丘中 3. 芸西中 4. 安田中 5. 奈半利中		
	教職員数 教員(期講及び時講含) 35名・実習助手(期付含) 1名・事務職員等5名		
学校の特色	工業系学科と商業系学科を併設する県内唯一の専門高校として、バランスのとれた産業人の育成を目指している。 【取り組みの5本柱】 1. “ものづくり”や“商業技術の習得”によって、実践的力を身につける学校 2. 環境教育・環境問題に取り組むとともに、情報化社会にも対応できる人材の育成 3. 部活動の活性化と資格取得の奨励 土木施工管理技術者2級、建築施工管理技術者2級、第1種・第2種電気工事士、乙種危険物取扱者、全商簿記検定1級等 4. 地域に根ざした活力ある開かれた学校づくりの推進 5. 就職・進学を保障できる学校(就職・進学の両面にわたっての幅広い選択が可能)		

(平成29年5月1日現在)

高知県立城山高等学校
(全日制 普通科)

所在地	香南市赤岡町1612	アクセス	ごめん・なはり線「赤岡駅」より 北へ徒歩約10分
TEL	0887-55-2126		
通学方法	自転車 94名、 JR・徒歩 15名、 JR・自転車 5名、 その他 14名		
生徒数	普通科(128名) 1学年(46名) 2学年(39名) 3学年(43名)		
校訓 および 校章	校訓 「教養ある人たれ」  <p>教養のある人に 仕上げることを意 味する。</p>		校章  <p>本校は、香宗我部氏の出城、 須留田城遺跡に建っており、六 角形の三ツ石は石垣を表す。昇 藤は生徒が向上心を持って伸び てもらいたいという意味がある。</p>
			創立72年 スクールカラー ブルー
沿革	S21 高知県立城山中学校・高等女学校と して開校。 S23 現在の校名となる。 S24 高知県立城山高等学校 別科(被服科)第1期生卒業 S25 普通科第1期生卒業 S27 定時制 農業科第1期生卒業 S33 別科(被服科)を定時制農業科に 改編合併 S45 体育科設置 S52 定時制農業科廃止 H10 体育科閉科		(沿革コメント) 城山高等学校は明治14年、赤岡中学校として発 足しており、その意味では127年の長い歴史をも つ伝統校である。昭和24年に高知県立城山高等学 校として1期生が卒業して以来、現在に至るまで、 香南地域の教育的機関の中心的な存在として教育・ 文化の向上に大きな役割を果たし現在に至る。平成 28年度には創立70年記念行事(式典・体育祭・ 文化祭)を行い、スポーツトラクターを贈呈してもら った。 平成29年度入学生からは全日制・単位制に移行。 2学期制を導入。ICT活用事業の実施。
基本情報	教育方針 学力、自主性、規律、人間尊重に留意した教育活動を展開する。 1 学力の向上・・・学習意欲の高揚を図りつつ、基礎・基本となる学力の修得に努め、それぞれが 希望する進路の実現を目指します。 2 自主性の育成・・・自主的な生活習慣を養い、生徒会活動・部活動の活性化及びボランティア活動 の推進を図ります。 3 規律の遵守・・・社会の一員としての自覚と責任をもち、規律や礼儀、公共性をわきまえ、何事 にも公正な判断のできる人間の育成に努めます。 4 人間尊重の精神の育成・・・一人ひとりを大切にする人間尊重の精神に基づいた人権教育及び教 育相談活動の充実を図ります。		
	進路状況(平成28年度) 卒業生38名 4年制大学3名(7.9%) 短期大学1名(2.6%) 専修・各種学校15名(39.5%) 就職県内12名(31.6%) 就職県外4名(10.5%) その他5名(13.2%) 医療・福祉系への進学・就職9名(23.7%)		
	部活動 体育系 剣道部 バスケットボール部 卓球部 サッカー部 文化系 吹奏楽部 写真部 放送部 ふくしデザイン部 ホームライフ部 イラストデザイン部 人権問題研究部		
	主な出身中学 1. 野市中 2. 鏡野中 3. 赤岡中 4. 香我美中 5. 香長中		
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含)28名・事務職員等4名		
	2年生から3つの型を設け3クラス編成のもと、少人数できめの細かい授業を展開しています。 社会福祉型 社会福祉に関する知識や技術を中心に学ぶことによって、介護職員初任者研修修了者 の資格取得を中心に、ボランティア活動にも力を注ぎ、高齢者や障害者を支援できる 心豊かで思いやりのある介護技術を持ち備えた人間の育成を図ることによって、福祉 系への進学・就職を目指します。 生活情報型 商業・情報・家庭科の専門科目を選択することによって、保育・情報系への進学・就 職を目指します。 文理型 大学・短大等への進学を目指します。 <生徒支援体制の充実> 人間関係をより良い方向に導くため全学年でQU・アセスアンケートを実施しています。また総合的 な学習の時間にSSTを取り入れることによって社会生活に適応できる生徒の育成を図ります。その取 組は年間8回の生徒支援委員会の中で討論しながらより良いものにしていきます。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立山田高等学校
(全日制 普通科 商業科)

所在地	香美市土佐山田町旭町3丁目1-3	アクセス	J R 土佐山田駅から徒歩5分
TEL	0887-52-3151		
通学方法	徒歩38名、自転車279名、JR68名、バス2名、その他49名		
生徒数	普通科353名、商業科83名 1学年158名、2学年145名、3学年133名 合計436名		
校訓 および 校章	校訓 誠実にあれ 誇らかにあれ 貫きてあれ  南舎より中庭、北舎を望む		校章  この校章は昭和24年8月に制定されたもので、漢字の「山」と「田」を組み合わせた図案の中に「高」の字を配したものである。 (制作：当時の図工担当教員 福富 栄)
			創立77年
沿革	S16 高知県立山田高等女学校 S24 高知県立山田高等学校 男女共学 昼間定時制課程併設 S27 昼間定時制課程を夜間部に切替 S37 商業科設置 H22 創立70周年記念式典挙行		(沿革コメント) 本校は、昭和16年4月、医学博士故八井田寛先生の献身的な尽力と多くの関係者の方々の協力により、高知県立高等女学校として開校しました。昭和23年の学制改革により山田高等学校と改称し、普通科全日制、定時制及び分校を併設した男女共学の新制高校として新たにスタートし、その後社会の進展に伴い、分校の廃止、商業科の新設等の変遷を経て、今日に至っています。平成22年度には創立70周年を迎えた、歴史と伝統のある学校です。
基本情報	教育方針 校訓のもとに「知・徳・体」の力をバランスよく養い、地域社会に貢献できる人材を育成する。		
	進路状況 大学24名(18%) <内 国公立大学16名> 短大12名(9%) 高知職業能力開発短期大学校6名(5%) 専修学校等47名(35%) 就職県内32名(27%) 就職県外2名(2%) その他8名(4%)		
	部活動 体育系(11部) 文化系(14部) ボランティア部(主な活躍実績) 【女子陸上部】 女子第28回全国高等学校駅伝競走大会出場(28年連続出場) 【弓道部】 平成28年度第71回国民体育大会弓道競技少年女子団体 近的の部 第3位 【書道部】 第68回全国学生書道展準大賞受賞 第31回弘法大師奉賛高野山競書大会 高野山官長賞受賞 他		
	主な出身中学 1. 鏡野中 2. 野市中 3. 香長中 4. 香北中 5. 鷲ヶ池中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)51名・実習助手2名・事務職員等3名		
学校の特徴	○国公立大学進学に必要なとされる学力や、公務員や銀行等の優良企業に就職するために必要な、社会人基礎力を育成している。 ○部活動を充実させ、個性と能力を伸ばす「文武両道」の学校づくりを推進している。 ○地元の幼稚園、小学校、中学校、山田養護学校、高知工科大学等と連携した教育活動を実践している。 ※高知工科大学と共同開発した探究型学習や、大学生による学習支援を受けている。 ※高校生が小学校に出向き学習支援を行ったり、あいさつ運動やボランティア活動等を合同で行っている。また、幼稚園や特別支援学校に出向き読み聞かせや演奏会などを実施している。 ○アメリカ合衆国フロリダ州ラーゴ高校と姉妹校提携を結び、短期留学の交流活動に取り組むなどグローバル教育を推進している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立山田高等学校
(定時制 普通科)

所在地	香美市土佐山田町旭町3丁目1-3	アクセス	J R土佐山田駅から徒歩5分
TEL	0887-52-3151		
通学方法	自転車10名、JR4名、バイク6名、自家用車7名、バス2名		
生徒数	普通科29名(1年次6名、2年次7名、3年次11名、4年次5名)		
校訓 および 校章	校訓 誠実にあれ 誇らかにあれ 貫きてあれ  南舎より中庭、北舎を望む		校章  この校章は昭和24年8月に制定されたもので、漢字の「山」と「田」を組み合わせた図案の中に「高」の字を配したものである。 (制作：当時の図工担当教員 福富 栄)
			創立77年 スクールカラー 規定なし
沿革	S24 鏡野高等学校と合併 高知県立山田高等学校となる S27 定時制昼間部を夜間部に S29 校歌、校旗制定 S54 食堂兼会議室新築 H18 単位制高校となる H22 創立70周年記念式典挙行		(沿革コメント) 昭和27年定時制夜間部が設置されて、定時制の歴史が始まりました。以来現在まで、高知県の勤労青年が学ぶ定時制の高等学校として、また近年は中途退学者や不登校経験者等の教育の場として役割を果たしてきています。
基本情報	教育方針		
	校訓のもとに「知・徳・体」の力をバランスよく養い、地域社会に貢献できる人材を育成する。		
	進路状況		
	大学1名(12.5%) 専門学校等5名(62.5%) 就職1名(12.5%) その他1名(12.5%)		
	部活動		
体育系 バドミントン部、陸上競技部、卓球部 文化系 読書部			
主な出身中学校 1 鏡野中 2 香長中 3 北陵中 4 野市中 5 香北中			
教職員数 教員(期講及び時講含)11名・事務職員1名			
学校の特徴	◆本校では、単位制の特色を生かした教育課程を編成し、高知北高等学校通信制との定通併修制度を活用して、3年間で卒業できる制度である三修制を導入しています。例年この制度により数名の生徒が3年間で卒業しています。また、確実に学習を積み重ねるよう、4年間の学習でも卒業できます。 ◆少人数で落ち着いた環境のもと、より充実した高校生活を送ることができるように、次のような取組を行っています。 ・「わかる授業」に努め、夏季・冬季休業中には基礎補習を行い、基礎学力の定着・向上に取り組んでいます。 ・進路講演会や短期大学・企業訪問、進路ガイダンスや進学・就職補習、職場見学・体験を行っています。これらにより、職業観や勤労観の育成を図るとともに、進路意識の醸成に努めています。進学においては、平成27年度に国立大学に1名が合格し、4年連続で4年制の大学に合格しました。また、就職においては、就職希望者の就職内定率は8年連続で100%を達成しています。 ・クラスや校内の生活体験発表会を行っています。この発表会に向け、高校生活や将来の夢など生徒に自分自身と対峙させます。各自の思いをクラスや全校生徒の前で発表することにより、自己肯定感を高めるとともに、お互いを理解し、励ましあい、学び合う機会になっています。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立嶺北高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高知県長岡郡本山町本山 727	アクセス	J R 大杉駅から とさでん交通バス嶺北高校前下車
TEL	0887-76-2074		
通学方法	徒歩 5 名、自転車 48 名、バス 2 名、その他 22 名		
生徒数	普通科 (77 名) 1 学年 (31 名)・2 学年 (20 名)・3 学年 (26 名)		
校訓 および 校章	校訓 校訓として制定 されているものは ありませんが、中 高一貫教育校とし て「中高一貫の 6 年間を熱く語り、自分と地域の未来を切り 拓くことのできる生徒を育てる」を教育目 標としています。 	校章  ペンと剣を図案化したもの。 剣の上にペンを置き「ペンは剣 に勝る」ことを表している。	
		創立 69 年	スクールカラー 緑
沿革	昭和 23 年 高知農業高等学校本山分校及び 森分校設置。 昭和 28 年 高知県立嶺北高等学校として独 立 (全日制普通科、定時制農業科 ・被服別科)。 平成 8 年 中高連携教育推進校に指定。 平成 13 年 中高一貫教育開発校に指定。 平成 19 年 同居連携型中高一貫教育開始。	(沿革コメント) 昭和 28 年に嶺北地域唯一の高等学校として独 立し、普通科、農林科、生活科の 3 学科を要し ていたが、地域の生徒数の減少により、昭和 59 年度からは普通科のみとなる。 平成 8 年度以降は、地域の中学校と中高連携 教育に取り組んできた。特に、平成 19 年度から は嶺北中学校と同居、土佐町中学校とは連携と いう新しい形の中高一貫教育に取り組んでい る。	
基本情報	教育方針 同居する嶺北中学校、連携する土佐町中学校と 3 校が、「つながる」意識を強く持ち、「中高一貫の 6 年間を熱く語り、自分と地域の未来を切り拓くことのできる生徒を育てる」の同じ目標のもと、中高一貫教育に取り組んでいる。 高校では、①基礎学力の定着と学力の向上、②活躍・活動の場の確保と地域との連携、③進路保障を取り組みの重点目標とし、自分、地域、そして自分と地域の将来を「熱く語れる」よう、学習、部活動、行事、学校外や地域での活動に積極的に取り組むための支援をしている。		
	進路状況 ・大学 7 名 (25%) (内 国公立大学 0 名)・短大 4 名 (14%) ・専修等 11 名 (39%)・就職県内 3 名 (11%)・就職県外 3 名 (11%) ・その他 1 名 (0.3%)		
	部活動 体育系 5 部、文化系 2 部、同好会 3 部		
	主な出身中学 1. 土佐町中 2. 嶺北中 3. 大豊町中 4. 大川中・北陵中・城北中		
	教職員数 教員 (期講及び時講含) 22 名・実習助手 1 名・事務職員等 4 名		
学校の特色	1 教育方針に沿って、つぎの事項を重点的に取り組んでいます。 ①基礎学力の定着と学力向上 少人数の学習形態、習熟度別授業、ICT 活用授業、中高授業交流、進路マップ、個別指導計画、スタディサプリ の活用など。 ②活躍・活動の場の確保と地域との連携 部活動、自主活動 (Reihoku Flügels、Reihoku ECO Flügels、Reihoku Youth Neighbors、Reihoku Guardian Angels、嶺北歴史探究会)、家庭クラブ活動、学校祭、中高合同体育祭、生徒会活動 (中高校流活動含む)、ボランティア活動 の充実など。 ③進路保障 上級学校訪問、インターンシップ、個別指導、進路補習、進路講演会 の実施など 2 3 つのコースを設け、多様な希望に対応しています。 A : 農業コース…普通科目に加え、農業に関する 6 科目の履修により基礎技能を習得します。 B : 文理コース…必修科目に加え、選択科目の設置により大学受験に要する力を取得します。 C : 商業コース…普通科目に加え、商業に関する 6 科目の履修により基礎技能を習得します。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立高知農業高等学校

(全日制 農業総合科・畜産総合科・森林総合科・環境土木科・食品ビジネス科・生活総合科)

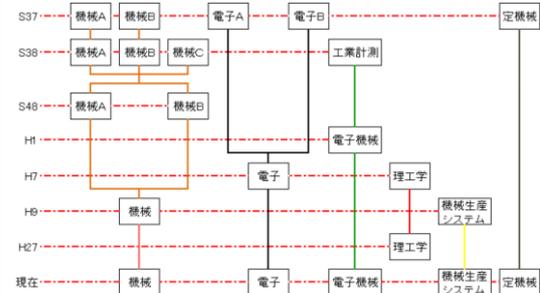
所在地	南国市東崎 957-1	アクセス	○JR・土佐くろしお鉄道 後免駅下車 徒歩5分 ○電車・バス 後免東町下車 徒歩10分 ○バス 農業高校通り下車 徒歩2分
T E L	088-863-3155		
通学方法	徒歩92名、自転車267名、JR187名、電車10名、その他35名		
生徒数	農業総合科(121名)・畜産総合科(95名)・森林総合科(67名)・環境土木科(93名)・食品ビジネス科(105名)・生活総合科(110名) 合計(591名) 1学年(205名)・2学年(194名)・3学年(192名)		
校訓 および 校章	校訓 誠実・勤労・剛健・協調 高農三訓 時間厳守 気持ちの良い挨拶 整理整頓		校章  「農は国の本なり」を象徴し、昭和23年に図化した。
	創立127年	スクールカラー 濃い緑色(作物の緑を表す)	
沿革	明治23年 高知県農学校として開校 大正12年 新校舎、長岡郡長岡村(現在地)に移転 昭和23年 新制度による高知県立高知農業高等学校となる 平成17年 学科改編により、農業総合科、畜産総合科、森林総合科、環境土木科、食品ビジネス科、生活総合科を新設する 平成22年 創立120周年記念式典並びに記念行事	(沿革コメント) 本校は明治23年9月9日、高知県農学校として高知市北門筋(現:丸ノ内)に開校した。 その後、幾多の変遷を経て、大正12年4月1日、現在地に移転し、昭和23年4月1日、新制度により、高知県立高知農業高等学校と改めた。全国屈指の歴史ある農業高校であり、1万9千余名の卒業生は、政界をはじめ、経済・産業・教育界等で活躍している。	
基本情報	教育方針 「農は国の本なり」。農業のもつ教育力を最大限活用し、「生きる力は心の教育から」「心の教育は命の大切さから」「命を育て生きる力を育成する高知農業」をモットーとして行き届いた教育、実践的・体験的な教育を展開する。 植物の栽培や動物の飼育など、「命あるものづくり」を通した人間教育を行うことで、心豊かで人に優しく接することができる若者を育てる。		
	進路状況 大学 39名(25.2%)・短大 11名(7.1%)・専修等 66名(42.6%)・就職県内 38名(24.5%)・就職県外 11名(7.1%) 進学:約75%が進学。 就職:内定100%。県内就職者は屈指の78%を誇り、高い地元志向に込めている。		
	部活動 体育系18部、文化系12部、農業系専門部6部 相撲、ライフル射撃、アーチェリー、陸上競技、新聞、放送、6部が全国大会に出場。 農業系専門部では、畜産クラブや生活クラブなど、各科に属する6部が活動中。		
	主な出身中学 1. 香長中 2. 鏡野中 3. 野市中 4. 清水ヶ丘中 5. 蔦ヶ池中		
教職員数 教員(期講及び時講含) 62名・実習助手(期付含) 14名・事務職員等 8名			
学校の特色	(1) 農業の基礎学科である6学科全てが設置されています。 (2) 実験室、温室、コンピュータ室、バイオテクノロジー施設など、学科ごとに最新の農業や農業技術を学習・習得できる施設・設備が整っています。 (3) 教育重点目標である、①学力の向上 ②生徒指導の徹底 ③進路指導の充実 ④人権教育の推進 に取り組んでいます。 (4) 2学年から全学科に2つのコースを設け、生徒の多様な希望進路にも対応できる教育課程を編成しています。 (5) 植物を栽培し、動物を飼育する中で、命の尊厳やものの大切さなど「豊かな心を育む教育」を実践しています。 (6) 農業のもつ教育力を最大限活用するとともに、体育祭や学園祭などの学校行事を重んじ、部活動や農業クラブ活動など数々の「活躍の場」が設けられており、「生きる力を育成する教育」を実践しています。 (7) 遠隔地生徒のために寄宿舎(舟入寮:定員92名)が整備されています。 (8) 身につけた専門力を推薦材料として希望進路を実現しています。(平成28年度進路決定100%) (9) 「農援隊」「高農グリーン作戦」をはじめとする、地域への農業力還元活動や、「高農ふれあい市」、後免町商店街での「高農ファミリーアンテナショップ」地域イベント参加など学校開放活動に積極的に取り組んでいます。 (10)平成22・23・27年度高知県地場産業大賞の次世代賞に輝いた「竹紙封筒」「土佐のソーセージ」「愛'mぶんたん(文旦缶詰)」「軍鶏ヶケ」の開発など、農業の1.5次産業化、6次産業化に取り組んでいます。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知東工業高等学校
(全日制 機械科・機械生産システム科・電子科・電子機械科)

所在地	南国市篠原1590番地	アクセス	JR「ごめん駅」から徒歩15分 とさでん交通「東工業前」から徒歩3分
TEL	088-863-2188		
通学方法	徒歩4名、自転車281名、JR35名、バス1名、電車13名、その他4名		
生徒数	機械科104(1)、機械生産システム科81(2)名、電子科72名(3)、電子機械科81名(1) 1学年115(3)名、2学年122(2)名、3学年101(2)名 合計338(7)名 ()は女子で内数		

校訓および校章	<p>校訓 教育重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (規律) 一節度ある生活態度をとろう (勤勉) 一進んで勉強し実力をつけよう (健康) 一安全で健康な毎日を送ろう  <p style="text-align: center;">玄関に掲げられた学校教育スローガンが、生徒を見つめている。</p>	<p>校章</p> <p>中央の工は、工業の「工」をもとに、天と地を人によって結び、天地の資源を開発する人間を表している。両方の翼は若人が希望に燃えて飛び立つ姿をあらわす。(制作者:渡辺満稔氏)</p> 
		<p>創立56年</p> <p>スクールカラー オレンジ</p>

沿革	<p>昭和37年、時代の要請や地元産業振興の期待の中で工業科を設置する高等学校として設立。</p> 	<p>(沿革コメント)</p> <p>平成13年に最新鋭の工作機器・設備を備えた機械工場に改築し、充実した施設・設備で、ものづくりの基礎から時代に応じた先端技術まで幅広い工業教育を実践している。また、CAD教育においては、多くの重工メーカーや自動車会社が入力しているCATIAをいち早く導入し学習している。勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と想像力に富む、健康で品格ある工業技術者の育成という基本方針を掲げ、多くの卒業生を全国に送り出している。</p>
----	--	--

基本情報	<p>教育方針</p> <p>日本国憲法及び教育基本法に基づき、平和を希求し、勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と創造性に富み、健康で品格のある工業技術者を育成する。</p> <p>学校教育スローガン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○凡事徹底! ○夢ありて目標あり! 目標ありて計画あり! 計画ありて行動あり! 行動ありて成果あり! ○ものづくりから人づくり・絆づくり ○白銀のつばさに載せて進めよ東工業
	<p>進路状況 大学10名(8.3%)〈内 国公立大学2名〉 専修・職訓等34名(28.3%) 就職県内33名(27.5%) 就職県外40名(33.3%) その他2名(1.4%) 就職希望の割合は例年60%前後であり、昨年度の就職内定率は98.6%であった。 進学面では、理工系の学科への希望が高く、ほぼ希望の学校への進学を果たしている。</p>
	<p>部活動 体育系13部、文化系4部、同好会1部 ○体育系では、ハンドボール部、自転車競技部、体操部、弓道部、野球部、ソフトボール部、サッカー部、バスケットボール等が活躍している。 ○文化系では、自動車・工作部、情報技術部等が高い技術力でものづくりに取り組み、各種大会や発表会で活躍している。</p>
	<p>主な出身中学 1. 野市中 2. 香長中 3. 三里中 4. 介良中 5. 鏡野・城北中</p> <p>教職員数 教員(実習助手、期講及び時講含)52名・事務職員等6名</p>

学校の特色	<p>平成26年度の入学生から機械科、機械生産システム科、電子科、電子機械科の4学科に学科改編している。工業の各分野の中でも、機械系・電子系に特化した学科編成となっている。高い工業技術を必要とする企業への就職や理工系の大学・専門学校への進学に対応させ、それぞれの学科が、特色ある教育内容を実践している。3次元CADシステムやマシニングセンタ、CNC、レーザ加工機、FMSなど充実の工作機械を使ったものづくりを実践するとともに、コンピュータによる計測・制御、通信等の技術についても深く学んでいる。さらに、資格取得について熱心に取り組んでおり、多くの生徒がジュニアマイスターの称号を取得している。</p>
	<p style="text-align: center;">進学</p> <p style="text-align: center;">高度な産業に対応できる人材・新しい産業に対応できる人材</p> 

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知東工業高等学校
(定時制 機械科)

所在地	南国市篠原1590番地	アクセス	JR「ごめん駅」から徒歩15分 とさでん交通「東工業前」から徒歩3分
TEL	088-863-2188		
通学方法	自転車10名、バイク15名、その他9名		
生徒数	機械科34名 1年次8名、2年次10名、3年次12名、4年次4名		
校訓および校章	教育重点目標 1. (規律) 一節度ある生活態度をとろう 2. (勤勉) 一進んで勉強し実力をつけよう 3. (健康) 一安全で健康な毎日を送ろう 		校章 中央の工は、工業の「工」をもとに、天と地を人によって結び、天地の資源を開発する人間を表している。両方の翼は若人が希望に燃えて飛び立つ姿をあらわす。 (制作者:渡辺満穂氏)
		創立56年	スクールカラー オレンジ
沿革	昭和37年時代の要請や地元産業振興の期待の中で工業科を設置する高等学校として設立。 		
基本情報	教育方針 日本国憲法及び教育基本法に基づき、平和を希求し、勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と創造性に富み、健康で品格のある工業技術者を育成する。 学校教育スローガン ○凡事徹底！ ○夢ありて 目標あり！ 目標ありて 計画あり！ 計画ありて 行動あり！ 行動ありて 成果あり！ ○ものづくりから人づくり・絆づくり ○白銀のつばさに載せて進めよ東工業		
	進路状況 大学1名(12.5%) 就職県内3名(37.5%) 現業継続1名(12.5%) その他3名(37.5%)		
	部活動 体育系3部、文化系1部 体育系ではバドミントン部とバスケットボール部が活発に活動している。 文化系では機械系クラブが技術競技大会で成績を収めている。		
	出身中学 1. 野市中 2. 鏡野中 3. 香長中 4. 鷹ヶ池中 5. 介良中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)14名・事務職員等1名		
学校の特色	本課程は全日制と同じく昭和37年に開校、設置された機械系単科の課程である。農業機械を生産する地元有力企業に職を持つ少年の「働きながら学ぶ」場として位置づけられてきた歴史的経緯があり、現在でもそのイズムは受け継がれている。平成13年には機械工場を新設、全国屈指の施設設備を導入、社会の変化に対応できる技術者養成を目指す全日制と同様に、ものづくりを通じて人づくり教育を推進し、将来その技術によって自活していこうという考え方が校内に溢れている学校・課程である。 また、高知北高校通信制を利用した定通併修、高知高等技術学校との技能連携などにより、3年間で卒業することを可能とした魅力ある定時制である。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立岡豊高等学校
(全日制 普通科)

所在地	南国市岡豊町中島511-1	アクセス	JR土佐大津駅より徒歩10分 とさでん交通領石通電停より徒歩10分
TEL	088-866-1313		
通学方法	徒歩13名、自転車646名、JR187名、電車20名、その他25名		
生徒数	普通科891名 1学年303名、2学年297名、3学年291名		
校訓および校章	校是 <p style="text-align: center;">学力・人柄・健康</p>  <p style="text-align: right;">校舎正門付近</p>	校章 	記章  <p>岡豊の頭文字の「O」と高等学校の頭文字「H」、それに勉学を示すペン先を組み合わせる中で、岡豊城址のふもとの田園地帯に立地した特色ある建物とおもみのある円満な調和の取れた人間性豊かな人物の育成、更に未来に向かって飛躍発展する姿のイメージが象徴されるように図案化したものである。 (制作者 松井みき子氏)</p> <p>記章は平成3年4月1日、制服に使用するために制定したもので、岡豊の頭文字の「O」の花文字を図案化したものである。</p>
	創立34年	スクールカラー 広大な自然と緑に恵まれた立地環境と若々しさや新鮮さ等を感じさせる色のイメージを総合して、スクールカラーを緑(グリーン)と決定した。	
沿革	S58 高知県立岡豊高等学校として開設 S59 第一期生入学 H8 普通科体育コース設置(全県学区) H15 普通科芸術コース全県学区に変更 H23 普通科全県学区に変更		
基本情報	(沿革コメント) 高知学区の生徒の増加や新時代の様々な要請に応えるために、土佐のまほろばと言われる自然豊かなここ岡豊の地に、全国に先駆けて普通科の中に総合選択制を取り入れた新しいタイプの高等学校として誕生し、現在に至る。		
	教育目標 「自らの可能性を信じ、あらゆることにチャレンジできる生徒の育成」 教育方針 「国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身ともに健康な人間を育成する。」 教育重点目標 1 礼節を重んじる精神の育成 2 学力の向上 3 意欲の育成 4 部活動の充実		
	進路状況 大学101名(35.1%)〈内 国公立大学17名〉 短大36名(12.5%) 専修等114名(39.7%) 就職25名〈内 公務員5名〉(8.7%) その他11名(3.8%) ◇主な進路先:〈国公立大学〉高知大学4、高知県立大学5、高知工科大学6、沖縄県立芸術大学2、〈私立大学〉立命館大学、東洋大学、龍谷大学、京都産業大学、近畿大学、帝京大学、国土館大学 等		
	部活動 体育系16部・文化系18部 体育系・文化系ともに活発で、昨年度は、女子バスケットボール部、男子柔道部、女子柔道部、男子弓道部、陸上競技部男子3種目・女子1種目、ボクシング部4階級がインターハイ出場。漫画・アニメ部はまんが甲子園で決勝進出、放送部は放送全国コンテスト出場、情報技術部は全国ワープロ技術競技会に3年連続出場。		
	主な出身中学 1. 香長中 2. 介良中 3. 北陵中 4. 鏡野中 5. 一宮中		
教職員数 校長・教員(期講及び時講含)84名・実習助手3名・事務職員等10名			
学校の特色	ゆとりと特色のある施設・設備に恵まれ、「生徒一人一人を大切に、能力を最大限に伸ばして、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かなたくましい人づくり」を目指し、徹底した学習指導、厳しい中にも温かみのある生徒指導、充実した特別活動、適切な進路指導の4つを指導の柱として教育活動に取り組んでいる。これらの目標を実現するために、教育の内容を学力伸長型・技能習得型・個性特技重視型を3つの柱とし、「国公立文系」・「私立文系」・「理系」・「ビジネス系」・「生活文化系」・「体育」・「音楽」・「美術」・「書道」の9つの類型・コースを設け、学習意欲の喚起・自己の適性の再発見・豊かな心情の育成を目標とし、1年次には自己理解と進路選択、2年次には自己啓発と進路目標の設定、3年次では進路実現と将来設計をテーマに『生きる力』をもった生徒の育成に取り組んでいる。「あいさつ・マナー・礼儀」を校風とし、部活動においても自主的・積極的な活動を奨励しており、充実した施設と良き指導者のもとでこれまでに38回の「日本一」に輝くなど、体育系・文化系ともに素晴らしい成果をあげている。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知東高等学校
(全日制 総合学科・看護科・看護専攻科)

所在地	高知市一宮徳谷 23 番 1 号	アクセス	J R 土佐一宮駅から徒歩 10 分
T E L	088-845-5751		とさでん交通バス土佐神社前から徒歩 15 分
通学方法	徒歩 13 名、自転車 524 名、J R 146 名、バス 13 名、その他 24 名		
生徒数	総合学科(589 名)・看護科(78 名)・看護専攻科(53 名) 合計 720 名 1 年次(200 名) 1 学年(31 名)・2 年次(196 名) 2 学年(23 名)・3 年次(193 名) 3 学年(24 名) 看護専攻科 1 学年(29 名)・2 学年(24 名)		
校訓 および 校章	校訓 開校の精神「立志」 「立志」とは、「将来の目標を定め、その達成をこころざす精神」のことです。  <p style="text-align: right;">校舎玄関付近</p>		校章  昭和 50 年、東高校の頭文字の『ひ』を図案化し、新しい高校のイメージを、重みと格調をもって近代的な形で表し、立志の精神により未来に向かって飛躍発展する姿勢を象徴したものです。(制作者：折原正典氏)
			創立 42 年 スクールカラー 臙脂(えんじ)色
沿革	S50 高知県立高知東高等学校として開校(普通科・衛生看護科) S51 第一期生入学 H 5 国際科開設 H12 普通科・国際科を改編し総合学科開設 H14 衛生看護科を 5 年制看護科・看護専攻科とする		(沿革コメント) 昭和 50 年、第二次ベビーブームによる生徒数急増に伴い、高知市東部の一宮地区に普通科・衛生看護科を設置し開校する。 平成 5 年には、国際社会に対応できる人材育成を目標に国際科を開設する。 平成 12 年に普通科・国際科を総合学科に改編し、高知県で 2 校目となる総合学科開設校となる。平成 14 年には、衛生看護科を 5 年一貫教育の看護科・看護専攻科と改編し現在に至る。
基本 情報	教育方針 社会の有為な形成者としての資質を目指し、心豊かで、心身ともに健康で、開校の精神「立志」を大切に、自ら判断して正しく行動できる人間を形成する。		
	1 個性の伸長 2 創造的思考力の育成 3 自覚と責任感の高揚		4 健康と体力の増進 5 豊かな情操の涵養 6 人権意識の高揚
	進路状況 大学 29 名(14%)<内国公立大学 5 名>、短大 29 名(14%)、専修等 98 名(46%) 就職県内 15 名(7%)、就職県外 4 名(2%)、専攻科 29 名(14%)、その他 8 名(4%)		 「立志くん」
	部活動 体育系 18 部、文化系 15 部 平成 28 年度は、レスリング部男子・女子がインターハイ出場。美術部が全国高等学校総合文化祭出場		
主な出身中学 1. 一宮中 2. 愛宕中 3. 潮江中 4. 城北中 5. 西部中			
教職員数 教員(期講及び時講含) 79 名、実習助手(期付含) 3 名、事務職員等 7 名			
学校 の 特色	総合学科の教育の特色は、「幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し、学ぶことが可能であり、個性を生かした主体的な学習を重視し、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習の重視」にある。また、多様な生徒たちにとって柔軟な科目選択ができるメリットがある。 看護科 5 年一貫教育では、看護師国家試験の受験資格を得るために、3 年間の看護科における学習の後、2 年間の専攻科で外部講師や実習施設等の協力を得ながら一般教養科目と看護に関する専門分野の授業を実施している。平成 28 年度までの修了生全員が、国家試験に合格し、高知医療センター・高知大学附属病院・県外の公的な医療機関等でスペシャリストとして活躍している。 生徒会主導による地域のボランティア清掃活動「さわやか隊」を年間通して実施し、多くの生徒が参加している。「さわやか隊」は平成 23 年 5 月に高知地区地域安全協会から表彰された。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立高知南高等学校
(全日制 普通科・国際科)

所在地	高知市棧橋通6丁目2番1号	アクセス	J R高知駅から土佐電交通電停 棧橋車庫前下車 徒歩3分
TEL	088-831-2811		
通学方法	徒歩28名、自転車526名、電車11名、バス8名、列車-自転車25名、列車-電車8名、 電車-自転車14名、バス-自転車3名、その他28名		
生徒数	普通科(555名)・国際科(96名)・合計(651名) 1学年(238名)・2学年(228名)・3学年(185名)		
校訓 および 校章	校訓 「進取」 「進取」とは、「自ら進んで新しい事を為す」という意味をもつ。  <p style="text-align: right;">校舎前景</p>	校章  1 「高」は高知と高校の二つの意味を持つ。 2 バックは「S」を二つ組み合わせている。これはSouthとSchoolの意味である。 (考案者 金沢 弥三平)	
		創立31年	スクールカラー スカイブルー (学校前の海と空の色)
沿革	S61 高知県立高知南高等学校として開設(普通科) S62 第一期生入学 H 6 国際教養科設置 H13 国際科学科設置、併設高知県立高知南中学校開設 H14 高知南中学校第一期生入学 H23 国際教養科・国際科学科を募集停止し、普通科及び国際科に改編	(沿革コメント) 昭和61年、第二次ベビーブームによる生徒数急増に伴い、高知市南部の潮江地区競馬場跡地に普通科を設置し開校する。 平成6年には、国際社会に対応できる人材育成を目標に国際教養科を設置する。 平成13年に併設型中高一貫教育校として、高知南中学校を開校するとともに国際科学科を設置する。平成23年には学科改編により、国際教養科・国際科学科を募集停止とし、普通科と国際科に改編する。	
基本情報	教育方針 一たくましく生きぬく人材の育成— ・確かな学力と豊かな人間性を育み、進路を保障する。 ・伝統と文化を育み、地域社会から信頼される学校風土をつくる。 教育目標 一知・徳・体の調和のとれた発達と集団形成力の育成— 1 自学の力を身に付け、生涯にわたって学びに向かう姿勢を養う。 2 美と配慮の精神を尊重し、人としての価値観に根ざした豊かな心を養う。 3 心身の健康を重視し、根気強く自己実現を目指す力を養う。 4 団結と奉仕の心を大切にし、集団の一員として社会に貢献できる態度を養う。		
	進路状況 大学76名(38.4%)<内 国公立大学28名> 短大17名(8.6%) 専修等79名(39.9%) 県内就職15名(7.6%) 県外就職4名(2.0%) その他7名(3.5%)		
	部活動 体育系18部、文化系16部 平成28年度は7つの部が全国大会に出場した。		
	主な出身中学 1.高知南中 2.横浜中 3.朝倉中 4.春野中 5.西部中		
学校の特色	教職員数(高校籍) 教員(期講及び時講含)66名、実習助手3名、事務職員等10名		
	平成14年度からは、併設型中高一貫教育校となり、平成23年度以降、高等学校は普通科、国際科の生徒を募集している。「進取」の校訓のもと、中高6年間を「基礎・基本を身に付ける」「自ら学ぶ力を身に付ける」「自己の未来に向かって学習する」という三つのステージで組み立て、学力の向上と人間性の涵養を軸に取り組んでいる。 グローバル社会に対応し、世界にはばたく人材を育成するため、本校が長年培ってきたキャリア教育と国際理解教育を両輪として、自己の在り方・生き方をしっかりと見つめ、これからの国際社会に生きる人間の育成を目指している。また、生徒が能動的に学修する探究型学習を積極的に取り入れるとともに、高知大学、高知工科大学との連携授業、海外研修などをおして、自己の進路目標をしっかりと持たせることに力を注いでいる。 中高6年間で勉学にもスポーツにも全力で向かい、「人に役立つこと」に喜びをおぼえ、「人に喜ばれること」に価値を見出す人間を育てていくことを校是として取り組んでいる。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知工業高等学校

(全日制 機械科・電気科・情報技術科・工業化学科・土木科・建築科・総合デザイン科)

所在地	高知市棧橋通2丁目11番6号	アクセス	とさでん交通停留所
TEL	088-831-9171		電車・バス 棧橋通二丁目
通学方法	徒歩9名、電車10名、自転車596名、JR158名、バス7名、その他14名		
生徒数	機械科 119名、電気科 103名、情報技術科 109名、工業化学科 114名 土木科 118名、建築科 120名、総合デザイン科 111名 1学年272名、2学年265名、3学年257名 合計794名		
校訓 および 校章	校訓 「磨け学 技、鍛えよ体 徳、誇れ郷土」 <技術者の素養> 創立者、竹内綱の開校記念講演より 1つ、身体が強壮なること。 1つ、技術上の学問の素養のあること。 1つ、学問の素養と相まって、これにそっだけの実施上の手腕のあること。 1つ、上の三つの能力を發揮するに足る人格を備えること。	校章 旧校歌の歌詞に火頭・水身・両翼とあるように、中央上端は火を示し、その下は水を示す。火と水は工業の基をなすものであり、さらに、左右両方の翼は世界に飛躍し工業を發展させる重大な意義がある。また、協調の意味を示すともいわれる神話のマーキュリーの杖の頂端を取り校章とし、共に助け励まし合い進歩發展させようとの偉大な意義を含む。	
			創立105年
沿革	M45.3.11 高知市与力町に私立高知工業学校設置の認可 M45.5.4 県公会堂において開校式を挙行(開校記念日と定まる) S17.4.8 高知市棧橋通2丁目に移転 S23.4.1 学制改革により高知県立高知工業高等学校となる S46.4.1 7学科となる H23.1.11 校訓制定 H24.11.3 創立100周年記念式典	(沿革コメント) 本校は、明治45年5月4日に、当時の優れた実業家であり政治家であった宿毛市出身の竹内綱・明太郎先生父子によって、「工業富国基」の信念に基づいて、工業技術者養成のため県下唯一の工業教育機関(私立高知工業学校)として創立され、本年度創立105周年となる県内で最も歴史と伝統のある工業高校である。	
基本情報	教育方針 1 基本方針 (1) 学問の研究 (2) 工業技術の習得 (3) 豊かな心身の育成 (4) 徳性の涵養 2 教育重点目標 (1) 進路保障の充実 (2) 特別活動の充実 (3) 学習指導の充実 (4) 生活指導の充実 (5) 工業教育の活性化 (6) 人権教育の充実		
	進路状況 大学52名(19.1%)〈内 国公立大学23名〉 短大等12名(4.4%) 専修・各種45名(16.5%) 就職県内70名(25.7%) 就職県外89名(32.8%) その他4名(1.5%) 16年連続就職内定率100%		
	部活動 体育系23部、文化系19部、同好会1部 平成28年度高知県高等学校ソフトボール夏季大会・秋季大会優勝 平成29年度高知県高等学校空手道春季大会男子団体組手優勝、他		
	主な出身中学 1. 香長中 2. 横浜中、西部中 4. 愛宕中 5. 春野中、高岡中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)83名、講師・実習助手7名、事務職員等6名		
学校の特色	本校は、機械科・電気科・情報技術科・工業化学科・土木科・建築科・総合デザイン科と工業に関する基本的な全ての分野がそろい、時代の進歩、発展に応じた施設・設備を備え、生徒たちの多くは、部活動や各種資格取得、研究活動などにも積極的に取り組んでいる。 また、卒業後の進路希望に対し、それぞれの学科で学んだ専門的知識を生かした就職、あるいは、さらに高度な専門的知識や技術を身に付けるための上級学校への進学など、幅広い進路希望に対応できるカリキュラムを編成している。		

(平成29年5月1日現在)

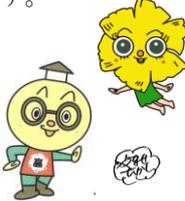
高知県立高知工業高等学校

(定時制 機械科・電気科・土木科・建築科〔本科・建築専修コース〕)

所在地	高知市棧橋通2丁目11番6号	アクセス	とさでん交通停留所 電車・バス 棧橋通二丁目
TEL	088-831-9171		
通学方法	徒歩3名、自転車26名、電車0名、JR3名、バイク12名、自家用車23名、その他3名		
生徒数	機械科16名、電気科10名、土木科17名、建築科13名、建築専修コース14名 1年次15名、2年次11名、3年次24名、4年次20名		合計70名
校訓 および 校章	校訓 「磨け学 技 鍛えよ体 徳 誇れ郷土」 創立者、竹内綱の開校記念講演より ※技術者の素養 1つ、身体が強壮なること。 1つ、技術上の学問の素養のあること。 1つ、学問の素養と相まって、これにそうだけの実施上の手腕のあること。 1つ、上の三つの能力を発揮するに足りる人格を備えること。		校章 旧校歌の歌詞に火頭・水身・両翼とあるように、中央上端は火を示し、その下は水を示す。火と水は工業の基をなすものであり、さらに、左右両方の翼は世界に飛躍し工業を発展させる重大な意義がある。また、協調の意味を示すともいわれる神話のマーキュリーの杖の頂端を取り校章とし、共に助け励まし合い進歩発展させよとの偉大な意義を含む。
			 創立105年 (定時制としては70年) スクールカラー えんじ色
沿革	(沿革コメント) 戦後の復興へと向かう昭和23年、新学校教育制度の施行により、全国の勤労青少年を対象に高等学校定時制通信制教育が誕生する。本校も、昭和23年に開設され、昭和24年4月の入学式では、「働きつつ学ぶと言うこの定時制こそが、新生日本の教育の本道である。」と校長式辞で結んでいる。今日までに4800余名の卒業生を輩出している開設70年目を迎えた伝統ある定時制工業高校である。		
基本情報	教育方針 社会人としての使命を自覚し、地場産業に貢献できる個性豊かで基本的な教養を身につけた工業技術者を育成する。 平成29年度教育重点目標 (1) 雇用主並びに関係諸団体との連携を密にし、勤労青少年の学習権の保障と就労支援に努める。 (2) ホーム・ルーム活動を中心にし、生徒会活動・部活動・学校行事などに、積極的に参加させ、生徒の連帯感を高めるとともに豊かな心を育む。 (3) 学習意欲を高め、学力の増進に努める。 (4) 特色ある学校づくりを進める。		
	進路状況 就職県内5名(15.6%)・就職県外1名(3.1%) 大学1名(3.1%)・短大1名(3.1%)・専修等6名(18.8%) その他(現職[正社員、アルバイト]継承者含む)18名(56.3%)		
	部活動 体育系8部、文化系4部 平成28年度 第47回全国高等学校定時制通信制体育大会(東京都他) バドミントン部出場 神戸市橋梁模型コンテスト(最優秀賞)、第25回電動カート性能評価会(総合優勝) 建設技術展2016近畿橋梁模型製作コンテスト(優秀賞)		
	主な出身中学 1. 潮江中 2. 南海中・城東中 4. 朝倉中 5. 横浜中		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)41名・事務職員等8名		
	工業高校の定時制としては、4科1コースという県内唯一の複数学科設置校であり、希望する専門教育に対応できる学校である。 専門科の特色である国家資格・検定試験の取得率は高く、数多い資格・検定にチャレンジし好結果を収めている。また、難関国家資格に現役定時制生徒として合格者を出すなど、指導体制は充実している。 工業高校ならではの「ものづくり」教育を柱に、基礎学力の定着から高い専門分野まで、生徒に応じたきめ細かい指導を行い、幅広い年齢層の生徒が充実した学校生活を送っている。 普通高校卒業生は全科3年次に編入し、専門科目の修得により2年間での卒業が可能である。また、建築専修コースでは建築業の生徒や生涯学習として建築知識を高めたい生徒のニーズに応えるカリキュラムを実施している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知追手前高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高知市追手筋 2-2-10	アクセス	J R 高知駅から徒歩 15 分 大橋通電停から徒歩 10 分
TEL	088-873-6141		
通学方法	徒歩 113 名、自転車 646 名、J R 217 名、バス 41 名、その他 188 名		
生徒数	普通科 783 名 1 学年 253 名、2 学年 273 名、3 学年 257 名		
校訓 および 校章	校訓 「質実剛健」「文武両道」 スクール・アイデンティティ 将来を見据え、次代をリードする人材の育成 	校章  昭和 24 (1949) 年 12 月に制定されたもので、本校の前身である高知県尋常中学校・第一中学校・城東中学校時代の、中学校の「中」の字を図案化した六稜星（「中」の字のなかに相対する一組の新月を配したものを）、本校のシンボルである銀杏 6 枚におきかえて、なかに「高」の字を配したものである。 —制作・昭和 24 年度卒 金澤彌三平—	創立 139 年 スクールカラー 規定なし
	沿革	1. 明治 11 年 11 月～明治 19 年 9 月 高知中学校時代 2. 明治 19 年 9 月～明治 32 年 3 月 高知県尋常中学校時代 3. 明治 32 年 4 月～大正 11 年 3 月 高知県及び第一中学校時代 4. 大正 11 年 4 月～昭和 23 年 3 月 高知県立高知城東中学校時代 5. 昭和 23 年 4 月～昭和 24 年 8 月 高知県立高知新制高等学校時代 6. 昭和 24 年 8 月～現在 高知県立高知追手前高等学校	(沿革コメント) ・本校の前身校は、明治 11 年に設立された旧制の中学校で、濱口雄幸内閣総理大臣や寺田寅彦博士などの卒業生は、教育・政治・経済の各界はもちろん芸能・スポーツ界等あらゆる分野のリーダーとして活躍しています。 ・追手前高校のキャラクター「追手前〇〇 (オオ) くん」「ギンコちゃん」は、校友であるやなせたかしさんによってデザインされたものです。 
基本情報	教育方針 国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身ともに健康な人間を育成する。そのため、本校の良き伝統である質実剛健の校風と文武両道の精神を基盤に、生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばし、高い知性と教養を身に付け、主体的に判断できる能力、豊かな人間性とたくましく生きるための健康・体力を培い、21世紀をリードする人間の育成を目指す。		
	進路状況 大学 159 名 (65.2%) (内 国公立大学 101 名) 短大 6 名 (2.5%) 専修等 12 名 (4.9%) 就職県内 1 名 (0.4%) 就職県外 0 名 (0.0%) その他 66 名 (27.0%)		
	部活動 体育系 17 部、文化系 19 部 全校生徒の約 80% が部活動に取り組み、校訓である「文武両道」を実践しています。		
	主な出身中学 1. 附属中 2. 野市中 3. 一宮中 4. 大津中 5. 香長中、城北中		
学校の特徴	教職員数 教員 (期講及び時講含) 67 名・実習助手 2 名・事務職員等 8 名		
	○ 創立 139 年の歴史と伝統を有しています。生徒は、校訓である「質実剛健・文武両道」の伝統を受け継ぎ、勉強と部活動の両立を目指して努力しています。 ○ 21 世紀のリーダーを育成します。リーダーとして必要な、一人ひとりが主体的に考え行動できる力を養うため、3 年間の育成プラン (レオプロジェクト) を実施しています。 ○ 大学等への進学希望者がほぼ 100% の進学校です。1 年次は文理共通で各教科の基礎力を養い、2 年次から文系と理系に分かれます。そして、教職員と生徒の意思疎通のもと、きめ細かな進路指導を行い、成果をあげています。 ○ 生徒の意欲と夢を最大限にサポートします。2 学期制により、ゆとりと活力のある学校生活を送れるように教育環境を整えています。また、生徒の意欲と教職員の高い指導力によって、質の高い授業が展開されており、全国に十分通用できる力を培っています。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立高知追手前高等学校吾北分校
(全日制 普通科)

所在地	吾川郡いの町上八川甲 2075-1	アクセス	JR伊野駅からバス40分 思地駅下車
TEL	088-867-2811		
通学方法	徒歩3名、自転車10名、バス29名、バイク16名、その他6名		
生徒数	普通科 64名 1学年 19名、2学年 23名、3学年 22名		
校訓および校章	校訓 質実剛健・文武両道  <p style="text-align: center;">校舎玄関付近</p>		校章  <p>昭和24(1949)年12月に制定されたもので、本校の前身である高知県尋常中学校・第一中学校・城東中学校時代の、中学校の「中」の字を図案化した六稜星(「中」の字のなかに相対する一組の新月を配したものを)、本校のシンボルである銀杏6枚におきかえて、なかに「高」の字を配したものである(学校要覧より)。 -制作・昭和24年度卒 金沢弥三平-</p>
	創立66年 スクールカラー <p style="text-align: right;">グリーン</p>		
沿革	S26 高知追手前高等学校上八川分校 (昼間定時制)として設置 S45 全日制の課程を置く (定時制募集停止) S59 現在地に新校舎完成現在に至る H23 学校創立60年	(沿革コメント) 生徒のピークは昭和52年度の卒業生47名である。平成2年度も41名の卒業生を出しているが、その後は年々減少し卒業生20名を下回った年度も数回ある。近年は入学者が20名前後で推移している。平成28年度までに、男子818名、女子831名、計1,649名の卒業生を送り出している。	
基本情報	教育方針 日本国憲法・教育基本法にもとづいて人類永遠の理想である平和国家の建設に貢献し地域の民主社会の進展と豊かな文化の創造に寄与することのできるような有為な人間育成に努める。 教育重点目標 (1) 人間尊重の精神の育成 (2) 学力・体力の向上 (3) 自主性・積極性の涵養 (4) 自律ある生活の確立 (5) 環境の美化		
	進路状況 ・大学 1名(7%)〈内 国公立大学 1名〉・短期大学 1名(7%) ・専修学校等 5名(36%)・就職〈県内〉4名(29%)・その他 3名(21%)		
	部活動 体育系 4部、文化系 3部、同好会 1部 卓球部、女子バスケットボール部、男・女バドミントン部、ソフトボール部 英語部、科学部、清流太鼓部、軽音楽同好会		
	主な出身中学 1. 吾北中 2. 伊野中 3. 池川中 4. 朝倉中 5. 本川中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)18名・実習助手(期付含)1名・事務職員等2名		
学校の特色	地域・家庭との連携を密にとり、学校行事・職場体験学習等を通して心豊かな人間性を育み、「将来、地域社会に貢献できる生徒の育成」に取り組んでいます。小規模校の特性を生かし、全ての教職員が一人ひとりの生徒を大切に見守り、個々の成長を手厚く支援し、全生徒の進路実現を図ります。授業・学校行事・部活動を通じて生徒の自主的な取り組みを支援します。普通型では、少人数指導によって学力の養成に努め、きめ細かい指導によって希望進路の実現を目指します。生活環境型では、衣食住を総合的に学習するとともに、実習等を通じて勤労精神を養い、社会で活躍することができる人材を育成します。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知丸の内高等学校
(全日制 単位制普通科・学年制音楽科)

所在地	高知市丸ノ内2丁目2番40号	アクセス	JR高知駅から徒歩20分
TEL	088-873-4291		
通学方法	徒歩9名、自転車287名、JR130名、バス11名、電車17名、その他45名		
生徒数	普通科446名、音楽科53名 1年次167名、2年次164名・3年次167名・4年次1名 合計499名		
校訓および校章	<p>「夢の実現 ～Dreams Come True～」</p>  <p style="text-align: right;">正門付近</p>		<p>校章</p>  <p>三方にのびるペン先は、知・徳・体の健やかな伸長と学問の尊重・発展を願うそのもとの部分は、統合五校の男女生徒の団結、協力和合をあらわし、丸は円満な成長と校名を表現したものである。 (昭和24年制定 山本開生 作)</p>
			<p>創立131年 スクールカラー 紺</p>
沿革	<p>M20 高知県尋常中学校女子部として開校 M34 高知県立高等女学校と改称 T15 高知県立高知第一高等女学校と改称 S24 高知県立高知丸の内高等学校と改称 男女共学となる S42 入試要項で女子のみの募集となる S44 音楽科新設 H17 男女共学による全日制的単位制普通科及び学年制音楽科に改編 H28 創立130周年記念式典及び行事挙</p>	<p>(沿革コメント) 明治20年に高知県最初の女学校である高知県尋常中学校女子部として開校する。以来、一時期の男女共学の時代を経て、その歴史の大半は高知県女子教育の中核を担う。普通科に家政科や本県唯一の音楽科を併設し、普通教育のみならず、産業・芸術といった専門分野の教育も行ってきた。平成17年に単位制による全日制普通科と学年制による全日制音楽科を併設した学校へ改編されるとともに、37年ぶりに男女共学となった。</p>	
基本情報	<p>教育方針 社会の形成者として必要な資質を持ち、日常のあらゆる場面での凡事を徹底することによって、心身ともに健康で、豊かな人間性と想像性を備えた人間を育成する。 生徒一人ひとりの夢の実現のために、個に応じた支援に努め、充実した学校生活を提供する。</p>		
	<p>進路状況 ・大学62名 (38.8%) (内 国公立大学17名) ・短大25名 (15.6%) ・専修等56名 (35%) ・就職県内7名 (4.4%) (内 公務員4名) ・就職県外0名 (0%) (内公務員0名) ・その他10名 (6.2%)</p>		
	<p>部活動 体育系10部、文化系15部、同好会2部 ・加入率 67.5% ・平成28年度は女子ソフトボール部、カヌー部、放送部が全国大会に出場した。</p>		
	<p>主な出身中学 1. 愛宕中 2. 西部中 3. 城北中 4. 介良中 5. 潮江中</p>		
学校の特色	<p>教職員数 教員(期講及び時講含)81名・実習助手 2名・事務職員等 11名</p>		
	<p>全日制的単位制普通科の特色としては、「自分の興味・関心、進路等に最も適した教科・科目を選択して学習することができる。」「多くの科目を開設し、少人数の授業を実施することにより、きめ細かな指導ができる。」「大学や専門学校との連携による学習成果の単位が認定される。」などがあげられる。 学年制音楽科においては、専攻別(声楽・器楽)の実技レッスンのほか、音楽史や音楽理論、ソルフェージュなどの専門科目を学習することができる。また、特別講座として国内外の著名な音楽家を招いてレッスンも実施している。各種の音楽コンクールに出場し、優秀な成績をおさめたり、毎年秋には、高知県立県民文化ホール(オレンジ)にて定期演奏会を開催するなど様々な活動を行っている。 生徒の自発的な活動として、部活動の生徒や生徒会を中心に、毎朝、生徒昇降口の前での「あいさつ運動」の実施や、始業前に生徒有志による校門前のゴミ拾いや落ち葉掃除、PTA主催の愛校活動への参加等、全校生徒のあいさつの励行や環境美化の充実に繋がっている。</p>		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知小津高等学校
(全日制 普通科・理数科)

所在地	高知市城北町1-14	アクセス	JR入明・円行寺駅から徒歩約10分 升形電停から徒歩約15分
TEL	088-822-5270		
通学方法	徒歩20名、自転車494名、JR233名、電車12名、バス6名、他35名		
生徒数	普通科(707名)・理数科(93名) 合計(800名) 1学年(282)名・2学年(267)名・3学年(251)名		
校訓および校章	 <p>校訓 自律 協同 誠実</p> 	 <p>校章 平和のシンボル「若鳩」が三羽、頭を中心に集まっている形をデザインしたものの。</p>  <p>シンボルキャラクター 「おづ君」</p>	<p>創立 144年</p> <p>スクールカラー 紫</p>
			<p>沿革</p> <p>M6 海南私塾創立(東京日本橋) M9 海南私塾分校を高知市に設立 M13 九反田旧開成館跡に移転 M17 海南学校と改称 S7 現在地に移転、校舎完成 S24 高知県立高知小津高等学校と改称 S43 理数科開設 H11 新校舎落成 H14 SSH指定 H19 SSH再指定 H24 SSH再々指定 H25 創立140周年</p> 
基本情報	<p>教育方針 文武両道の質の高い教育を実現するために、高い知性と円満な人格、強健な身体をもった生徒の育成を目指し、校訓でもある次の3点の達成に努める。 自律 … 自分でよく考え、正しく行動する。 協同 … 互いに心をあわせ、協力する。 誠実 … 己にうちかち、誠でつらぬく。</p>		
	<p>進路状況 ・大学159名(63%)〈内 国公立大学82名〉・短大11名(4%) ・専門学校等72名(28%)・就職7名(内、県外3名)(3%)、その他5名(2%) 近年、国公立大学への合格実績も伸びており、本年度は82名(過年度含92名)が合格、興味・関心に応じ、県内外の大学に広く進学している。就職は全7名が公務員である。</p>		
	<p>部活動 体育系：21部、文化系：20部、同好会：1部 ■ 平成28年度 県体育大会(及び四国大会)の結果 <<全国大会出場>>ソフトテニス部女子個人、ライフル部女子個人 <<四国大会出場>>バレーボール部男子、卓球部男子団体・男子ダブルス・男子シングルス、陸上競技部男女個人、ソフトテニス部女子団体・男女個人、剣道部男子個人・女子団体、ライフル部女子団体・個人、水泳同好会男子個人 ■ 第40回全国高等学校総合文化祭広島大会へ出場 書道部、新聞部(5年連続)、将棋囲碁部</p>		
	<p>主な出身中学 1. 愛宕中 2. 一宮中 3. 城北中、附属中 5. 香長中</p>		
学校の特色	<p>教職員数 教員(期講及び時講含)71名・実習助手2名・事務職員等9名</p>		
	<p>創立144年の歴史と伝統及び充実した施設設備を活用するとともに、第2期高知県教育振興基本計画に基づき、県のリーダー的な高等学校として文武両道の質の高い教育を実現し、生徒、保護者、地域、県民の本校教育に対する期待に応える学校を目指す。 毎日の50分7限の授業や土曜日及び長期休業中の補習を通して、基礎学力の定着及び応用力の向上を目指し、現役で国公立大学に合格できる学力を身に付ける。 部活動には、文化系・体育系合わせて90%の生徒が加入し、限られた練習時間の中で日々熱心に取り組み、各種大会での上位入賞を果たしている。 県内で唯一の理数科では、文部科学省による日本の将来を担う科学者・技術者の育成を目的とした「スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)」を平成14年度から4期連続で指定を受けている。大学や研究機関と連携し、新たな理数教育カリキュラムの研究開発を行い、また地域資源を活用しながら更に効果的な教育プログラムを構築することで、理数系の有望な人材育成を目指している。さらには、第4期からは普通科へも課題研究の導入を行う。</p>		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知北高等学校
(定時制 [多部制単位制 昼間部] 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車一上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
TEL	088-832-2182		
通学方法	徒歩7名、自転車176名、JR3名、電車12名、バス4名、バイク17名、その他10名		
生徒数	普通科229名 1年次81名、2年次71名、3・4年次77名		
校訓 および 校章	校訓 自由 真理 友愛  <p style="text-align: center;">校舎正門入口付近</p>		校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配して「S（スクール）」文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図（制作者：塩田晴一氏）
			創立45年 スクールカラー なし
沿革	S47 高知県立高知北高等学校として発足 （定時制夜間部・通信制） H 3 定時制課程に昼間部普通科を設置 H14 創立30周年記念式典挙行 H24 創立40周年	(沿革コメント) 平成3年県下唯一の単位制定時制（昼間部・夜間部）・通信制の単独高校として改正。鏡川南河畔。 定時制昼間部は3年卒を原則。 定時制夜間部は4年卒を原則だが3年卒も可能。 通信制は3年卒も可能。	
基本情報	教育方針 目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる環境づくりに努めるとともに学力向上に努める。 ①心の教育の推進 ②生きる力の推進（進路保障） ③自主活動の育成・活性化 教育目標 1. 基礎学力の充実と学習意欲の向上 2. 規則正しい生活習慣の確立 3. 教育相談の充実 4. 進路指導の充実 5. 教育環境の充実 6. 人権教育の充実		
	進路状況 ・大学 8名（13%）（内 国公立大学 1名）・短大 4名（7%） ・専修等 21名（35%）・就職県内 4名（7%）・就職県外0名（0%） ・専攻科 0名（0%）・その他 23名（38%）		
	部活動 体育系 バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、陸上、剣道、卓球 文化系 音楽、華道、英語、茶道、美術、マンガ、軽音楽、パソコン、絵本愛好会、書道 炊家、将棋、アドベンチャー研究会、演劇研究会、ダンス 同好会 ペタンク		
	主な出身中学 1. 潮江中 2. 城北中 3. 城西中 4. 西部中 5. 城東中・一宮中		
	教職員数 教員（期講及び時講含） 37名・実習助手（期付含）1名・事務職員等3名		
学校の特徴	心のケアを充実し、多様なニーズを持った生徒が、目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる「日本一あったかな学校づくり」をめざしている。 ・3年間での卒業を原則。 ・単位制高校として、多様な選択科目を設定することにより、生徒一人ひとりの個性の伸長と進路希望の実現をめざす。 ・本校昼間部・夜間部、通信制の生徒が課程を越えて学ぶことができる共通講座や幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目標に社会人とともに学ぶ特別講座などを設定。 ・教育相談担当者を中心にスクールカウンセラーや医師による医療アドバイザーなどを配置し、個別支援体制が充実している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知北高等学校
(定時制 [多部制単位制 夜間部] 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車一上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
TEL	088-832-2182		
通学方法	自転車68名、電車3名、バス1名、バイク11名、乗用車11名、徒歩4名、汽車1名、その他2名		
生徒数	普通科(97名)・衛生看護科(4名) 合計(101名) 1年次生(18)名・2年次生(30)名・3年次生(30)名・4年次生(23)名		
校訓 および 校章	校訓 自由 真理 友愛 運動場からの校舎夜景とキャッチフレーズ 		校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配してS(スクール)文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図(制作者:塩田晴一氏) 創立45年
			スクールカラー なし
沿革	S47 高知県立高知北高等学校として発足。定時制(夜間部:普通科と衛生看護科)及び通信制の課程。 H3 定時制課程に昼間部普通科を設置。 H14 創立30周年記念式典挙行 H24 創立40年		(沿革コメント) 平成3年県内唯一の単位制定時制(昼間部・夜間部)・通信制の単独高校として改正。 鏡川南河畔。 定時制昼間部は3年卒を原則。 定時制夜間部は4年卒を原則。 (3年卒も可能) 通信制は3年卒も可能。
基本情報	教育方針 目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる環境づくり。 ①心の教育の推進 ②生きる力の推進(進路保障の充実) ③自主活動の育成・活性化		
	教育重点目標 ①基本的生活習慣を確立し、自律を促す教育の推進 ②生徒一人一人の心の成長を促す教育の推進 ③生徒の希望進路の実現 ④生徒会・部活動など特別活動の活性化		
	進路状況 ・大学1名(4.8%)〈内 国公立大学1名〉・短大0名(0%) ・専修等4名(19.0%)・就職県内15名(71.4%)・就職県外1名(4.8%) ・専攻科0名(0%)・その他0名(0%) 希望進路の実現に向けて若者サポートステーションとの連携を行っている。		
	部活動 体育系:6部 文化系:6部		
	主な出身中学 1.西部中 2.朝倉中 3.城北中 4.城東中 5.一宮中		
教職員数 教員(期講及び時講含)25名・実習助手1名・事務職員等2名			
学校の特徴	心のケアを充実し、多様なニーズを持った生徒が、目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる「日本一あったかな学校づくり」をめざしている。 ・4年間での卒業を基本としているが、定通併修等により3年間での卒業も可能。 ・単位制高校として、多様な選択科目を設定することにより、生徒一人ひとりの個性の伸長と進路希望の実現をめざしている。 ・本校夜間部・昼間部・通信制の生徒が課程を越えて学ぶことができる共通講座や幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目標に社会人とともに学ぶ特別講座などを設定している。 ・教育相談担当者を中心にスクールカウンセラーや医師による医療アドバイザー、ソーシャルワーカーなどを配置し、個別支援体制が充実している。 ・岡山県鳥城高校と姉妹校提携し、毎年リーダー研修等の交流を行っている。 ・生徒が運営する「夜間部を語る会」(8~9分科会)を毎年開催している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知北高等学校
(通信制 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車一上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
T E L	088-832-2182		
通学方法	調査なし		
生徒数	普通学科(438名)		
校訓 および 校章	校訓 自由 真理 友愛  校舎正門入り口付近	校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配してS(スクール)文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図(制作者:塩田晴一氏)	創立45年 スクールカラー なし
	沿革	S47 高知県立高知北高等学校とし発足(定時制夜間部・通信制) H3 定時制課程に昼間部普通科を設置 H14 創立30周年記念式典挙行 H24 創立40年	(沿革コメント) 平成3年県下唯一の単位制定時制(昼間部・夜間部)・通信制の単独高校として改正。鏡川南河畔。 定時制昼間部は3年卒を原則。 定時制夜間部は4年卒を原則とするが、3年卒も可能。 通信制は3年卒も可能。
基本情報	教育方針 目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる環境づくりに努めるとともに学力向上に努める。 ① 心の教育の推進 ② 生きる力の推進(進路保障の充実) ③ 自主活動の育成・活性化 教育目標 (1) 基礎学力の充実と学習意欲の向上(単位の修得率を高める) (2) 規則正しい生活習慣の確立 (3) 心身に不安を抱える生徒に対する支援の強化		
	進路状況 大学3名(5.3%) 短大2名(3.5%) 専修等9名(15.8%) 就職県内2名(3.5%) 就職県外1名(1.8%) その他43名(75.4%)		
	部活動 体育系・文化系部活動及び同好会 美術部		
	主な出身中学 1. 潮江中 2. 城北中 3. 西部中 4. 伊野中 5. 愛宕中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)33名・事務職員等1名		
学校の特色	心のケアを充実し、多様なニーズを持った生徒が、目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる「日本一あったかな学校づくり」を目指している。 ・学習は、レポート提出と添削指導、また、週に1日(水・日より選択)のスクールリング(面接指導)、定期試験が基本です。 ・単位制高校ですので自分のペースで学習することができます。 ・学習内容や卒業資格は、基本的に全日制課程や定時制課程と同じです。 ・生徒は、課程(3課程:昼間部・夜間部・通信制)を越えて、共通講座や特別講座で学ぶことができます。 ・特別支援体制の充実(ハートフル・ドア等校内外の関係機関との連携)により、生徒や保護者への支援を目指します。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立高知西高等学校
(全日制 普通科・英語科)

所在地	高知市鴨部2丁目5番70号		アクセス	JR旭・高知商業前・朝倉駅から徒歩約15分 電車・バス「鴨部」から徒歩6分
TEL	088(844)1221			
通学方法	徒歩22名、自転車584名、JR159名、電車3名、バス13名、その他22名			
生徒数	普通科(715名)・英語科(121名) 合計(836名) 1学年(281名)・2学年(280名)・3学年(275名)			
校訓 および 校章	校訓 「HARD SPIRIT 貫徹精神」 教訓 わが友よ われら 学ばん Work Hard われら 鍛えん Train Hard われら 睦まん Play Hard		 校章「蛍雪」 唱歌「蛍の光」の一節にも謳われている中国の故事「蛍雪の功」に因み、蛍と雪の結晶が図案化されている。 昭和32年7月制定。	スクールカラー 「青」 昭和33年制定
				
沿革	S32 高知県立高知東高等学校(仮称)として開校(普通科)。第1期生入学。 S33 校名が「高知県立高知西高等学校」と決定。 S35 校歌発表。 S43 英語科設置。英語科第1期生入学。 H5 ザ・フレンズ・スクール(オーストラリア)と姉妹校提携を締結。 H19 創立50周年記念式典を挙げる。 H25 オーストラリアにて姉妹校提携20周年記念式典開催。		(沿革コメント) 昭和32年4月、現在の桜井町に「高知県立高知東高等学校(仮称)」として開校し、翌年6月、現在の地に移転、校名を「高知県立高知西高等学校」と正式に決定。 昭和43年4月には、英語科を併設、校訓「HARD SPIRIT 貫徹精神」を制定し、今日に至る。本年創立61年を迎え、この間、23,531名の卒業生を送り出している。 平成29年4月、第61期生入学。	
基本情報	教育目標 「HARD SPIRIT 貫徹精神」の下、幅広い知識と教養を身につけ、逞しく豊かな心身を培い、郷土や我が国さらには国際社会の発展に貢献する志を涵養し、国際人として大局的な視点に立って行動できる人間の育成を目指す。			
	進路状況 ・大学170名(61%)〈内 国公立大学97名合格〉、短大13名(5%) ・専修等34名(12%)・就職県内10名(4%)・就職県外2名(1%)、その他48名(17%)			
	部活動 体育系17部、文化系16部、同好会1部が活動中。 *平成28年度の活動実績 全国大会出場：新体操部、水泳部、美術部、写真部、放送部、水球(個人) 四国大会出場：サッカー部、新体操部、バドミントン部、バスケットボール部(男子) ハンドボール部、テニス部、水泳部、吹奏楽部			
	主な出身中学 1. 朝倉中 2. 西部中 3. 旭中 4. 春野中・高岡中			
	教職員数 教員(期講及び時講含)75名、実習助手3名、ALT2名、事務職員等9名			
学校の特徴	「明るく素直で真面目」といわれる校風に、強さを持ち合わせてきた生徒たちは、勉強や部活・学校行事に、日々積極的に取り組んでいます。 高知の国際理解教育・英語教育の先駆けとして、これまでも海外への語学研修や交換留学など、様々な国際交流活動や英検等の取得指導に力をいれてきましたが、平成27年度より文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受け、更なるグレードアップを図っています。 進路指導では、生徒の希望する進路実現100%を目指し、従来の「授業第一主義」に「能動的学習活動」を加え、各種補習などによる学習指導、面接指導や小論文指導、進路ガイダンス等の充実を図り大学入試などの進路実現に対応できる学力を養成します。 西高は、「探究」姿勢を持った世界に通じる「グローバル・リーダー」の育成と、これを可能とする新しい高知西高校の「創造」に一步踏み出しています。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立伊野商業高等学校
(全日制 単位制 キャリアビジネス科)

所在地	吾川郡いの町332番地1	アクセス	JR枝川駅から徒歩5分 とさでん交通枝川電停から徒歩7分
TEL	088-892-0548		
通学方法	徒歩16名、自転車139名、JR71名、電車26名、その他155名		
生徒数	商業に関する学科 キャリアビジネス科 407名 1年次147名、2年次129名、3年次131名		
校訓および校章	<p>校是 「悔ゆるなき今日を励めば」 校歌の一節、「励めば」という接続の形から、自然にそれに続く歌詞「ああ青春の日々新たななり」を思い起こすことを願った第1期生が選んだ言葉で、後輩へのエール。</p>  <p style="text-align: right;">校舎玄関付近</p>	<p>校章 伊野商業高校の“いの”を図案化したものであり、四方の尖端は本校の発展と卒業生の社会への貢献の広がりを象徴しています。 地色は濃紺で、若さと和合を、“いの”は金色で、優れた知識・技能と洗練された品位・情操を備えた豊かさを、商は白色で、誠実で信義のある特性をそれぞれ象徴しています。(筒井広道選定)</p> 	
			<p>創立54年</p> <p>スクールカラー 濃紺 若さと和合を象徴しています。</p>
沿革	<p>S38 高知県立伊野商業高等学校として開校 S46 情報処理科開設 S60 第57回全国選抜高等学校野球大会優勝 H6 商業科を、流通ビジネス科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科の4小学科に改編 H14 流通ビジネス科を、メディアクリエート科に改編 H24 商業科5小学科をキャリアビジネス科1学科に改編 H25 創立50年記念事業の実施</p>	<p>(沿革コメント) 産業教育審議会からの商業教育の充実の建議を得、また、産業教育の戦後のベビーブームによる生徒数急増もあって、地元北内地区の強い要望により商業科高校を設置し開校しました。 本校の設立時の設備は、全国的にも例を見ない画期的なものであり、後の文部省の設置基準にも取り入れられました。 平成24年度に、単位制・コース制に学科改編し、多様なビジネス教育に取り組んでいます。</p>	
基本情報	<p>教育方針 産業人としての高い理想と優れた知識・技能を持ち、社会に貢献する有能な人物を育成する。 1 人権教育、道徳教育を推進し、豊かな心と相互扶助の精神を養う。 2 学力の向上に努め、進路を保障する。 3 心身の健全な発達を促し、あらゆる困難に立ち向かうための生きる力を培う。</p>		
	<p>進路状況 大学8名(8.1%)<内 国公立大学1名> 短大13名(13.3%) 専修等47名(48.0%) 就職県内16名(16.3%) 就職県外5名(5.1%) その他10名(10.2%)</p>		
	<p>部活動 体育系部・同好会12部、文化系部・同好会14部</p>		
	<p>主な出身中学 1. 西部中 2. 朝倉中 3. 旭中 4. 伊野中 5. 高岡中</p>		
学校の特色	<p>教職員数 教員(期講及び時講含)60名、実習助手(期付含)2名、事務職員等5名</p> <p>本校は、県内唯一の県立商業高校として、今年で54年の歴史を刻み、県内外に有為な人材を輩出してきました。平成24年度には、本校が培ってきた小学科制教育の特色を生かしながら、単位制・コース制の学科「キャリアビジネス科」に改編しました。 本校の特色は、キャリア教育を基盤としたビジネス教育であり、また、インターンシップ、就業訓練や販売実習(伊野商デパート・伊野商フェア等)の体験活動にも重点をおいています。このことから、将来の進路や職業選択を含めた、それぞれの『生き方』や自己の進路についての自覚を深めることができます。 教育課程は、2年次から将来の希望に応じた4つのコース(ビジネス・ツーリズム・ICT・デザイン)に分かれ、それぞれ学習をすることにより、個性を生かした主体的能動的な学習が行われています。 また、それぞれのコースの特性に応じて、高度な資格・検定取得にも力を入れており、その成果を活かした就職や進学を目指しています。</p>		

(平成29年5月1日現在)

高知県立 春野高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	高知市春野町弘岡下3860番地	アクセス	とさでん交通 春野高校前バス停	
TEL	088-894-2308			
通学方法	自転車395名、バス6名、その他15名			
生徒数	総合学科(416名) 合計(416名) 1年次(137)名・2年次(147)名・3年次(132)名			
校訓 および 校章	校訓 なすことによって学ぶ  春野高等学校「花時計」	校章  平成18年、高知園芸高等学校を春野高等学校に改め、総合学科に改編される。 校章は、春野の「H」の中に、春野町の花のあじさいをデザインしたものの。	創立 110年	スクールカラー 緑
	沿革	明治41年(1908年) 弘岡実業女学校として開校 大正11年(1922年) 弘岡実科高等女学校開校 昭和16年(1941年) 高知県立弘岡農業高等学校開校 昭和46年(1971年) 校名を高知園芸高等学校に改める 平成18年(2006年) 校名を春野高等学校に改める 総合学科に学科改編 平成29年(2017年) 110周年記念式典(11月)予定	(沿革コメント) 明治41年に弘岡実践女学校として春野の地に開校して以来、幾度かの変遷を重ねながらも1万余名の卒業生を社会に送り出し、本年度で110年目の節目の年を迎える。 平成18年度に高知園芸高校から春野高校へと校名を変更し、農業教育を生かした総合学科に改編され12年目を迎えている。	
基本情報	教育方針 総合学科の特性を活かした実践的な学習を通して、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図り、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。 本年度の教育目標 (1)基礎学力の定着と学力の向上 (2)基本的な生活習慣の確立 (3)進路保障			
	進路状況 <ul style="list-style-type: none"> ・大学10名(7.2%)〈内 国公立大学1名〉・短大9名(6.5%) ・専修等61名(43.9%)・就職県内31名(22.3%)・就職県外12名(8.6%) ・その他16名(11.5%) 			
	部活動 <ul style="list-style-type: none"> 体育系10部、文化系13部、同好会3部 【体育系】ソフトテニス部、バレーボール部、ソフトボール部、サッカー部、剣道部、バスケットボール部、陸上部、弓道部、ビームライフル部、バドミントン部、水泳同好会 【文化系】茶道部、写真部、放送部、華道部、美術部、文芸部、漫画研究部、演劇部、映画研究部、クッキング部、書道部、音楽部、科学部、栽培同好会、歴史同好会 			
	主な出身中学 1. 朝倉中 2. 高岡中 3. 春野中 4. 西部中 5. 南海中			
	教職員数 教員(期講及び時講含)41名・実習助手6名・事務職員等6名 (就職アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー 各1名)			
学校の特色	<ul style="list-style-type: none"> * 生徒の興味・関心、進路希望に応じた科目が選択でき、自主的・主体的に学ぶことができる。 * 進路相談や進路・就職ガイダンスを充実させ、生徒一人ひとりにきめ細かく適切な進路指導を行う。 * ささまざまな体験活動を通して、生徒の豊かな心を育む。 * 地域、大学等との連携を進め、幅広い学習活動を展開する。 進路希望の実現を学校目標に掲げ、進路未定者を出さない取り組みを進めています。総合学科の特性を生かし、幅広い進学・就職先を展開しています。高知大学や高知県立大学など、国公立大学への進学者も出しています。 また、資格取得では、実用英語検定や情報処理技能検定、高校家庭科技術検定、小型建設機械類運転資格など幅広い資格・検定の取得実績があります。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立高岡高等学校
(全日制 普通科)

所在地	土佐市高岡町甲 2 2 0 0	アクセス	とさでん交通バス停高岡高校前から徒歩 1 分
TEL	0 8 8 - 8 5 2 - 1 1 6 8		
通学方法	徒歩 4 名、自転車 90 名、JR 0 名、バス 1 名、バイク 0 名、その他 9 名		
生徒数	普通科 (104 名) 合計 (104 名) 1 学年/年次 (40) 名・2 学年/年次 (32) 名・3 学年/年次 (32) 名		
校訓 および 校章	校訓  熱意：高い目標を持ち、一生懸命取り組む 創意：自ら考え、新しいものを創り出す 誠意：正直で、人を思いやる心を持つ		校章  若葉 3 枚を配し、鏡をバックに若芽つる 3 本で構成。鏡を入れることで、男女共学を意味し、ともに切磋琢磨しながら社会人になることを願う。若葉は、所在地藤並町の藤からとっている。
			創立 7 1 年 スクールカラー 紫紺
沿革	(沿革コメント) 昭和 21 年、高岡町外 6 ヶ村組合立高岡高等小学校同組合青年学校を解散し、高岡中学校、同高等女学校として設立する。 昭和 23 年、高岡高等学校、同併設中学校と改称し、定時制課程を併置。同年、宇佐町と戸波村に分校を設立するが、昭和 48 年に戸波分校、平成 11 年に宇佐分校が閉校となる。 平成 6 年にはエレベーター棟が完成し、平成 12 年に食堂及び格技場棟の改築が完成する。		
基本情報	教育方針 土佐市唯一の普通科高校として、小規模校の特性を生かして、一人ひとりの生徒の能力や個性の伸張を図り、生涯にわたって「自己実現できる基礎」を培う。将来、社会人として自立するとともに、社会や地域の発展に貢献できる人材を育成する。 教育重点目標は、次のとおり。 (1) 学力の向上 (2) キャリア教育の充実 (3) 生徒の自主活動の活性化 (4) 人権教育の推進・充実		
	進路状況 ・大学 2 名 (7.4%)・短大 1 名 (3.7%) ・専修等 15 名 (55.6%)・就職県内 6 名 (22.2%)・就職県外 0 名 (0%) ・専攻科 0 名 (0%)・その他 3 名 (11.1%)		
	部活動 体育系 5 部 (野球、バスケットボール男子、陸上、弓道、剣道) 文化系 4 部 (美術、放送、書道、写真) 同好会 3 部 (パソコン、軽音楽、文芸)		
	主な出身中学 1.高岡中 2.朝倉中 3.戸波中 4.春野中 5.伊野中		
学校の特徴	教職員数 教員 (期講及び時講含) 21 名・実習助手 (期付含) 0 名・事務職員等 5 名		
	○ 土佐市で唯一の普通科高校で、学年 2 クラスの小規模高校ならではの特色を生かし、生徒の多様なニーズに応じている。そのため、2 年次から、さまざまな教科・科目を学習できる「一般型」と大学進学に対応する「進学型」の 2 つのコースを設けている。また、両コースとも、選択科目をできるだけ多く設定している。 ○ 平成 29 年度入学生から単位制高校となりました。また、2 学期制を導入して、授業時数を確保しての学力の定着・向上に力を入れます。 ○ 地域との連携を図りながらキャリア教育「轍」を推進し、生徒が進路を主体的に選択し決定できる資質を培っている。本校は「なりたい自分からなれる自分へ」を合言葉に 1 年で自己理解 (ジョブリサーチ)、2 年で社会体験 (インターンシップ)、3 年で自己啓発 (マナー検定の実施) に取り組み、地域・社会に貢献できる人材を育成している。 ○ 生徒の自主的活動は非常に活発で、小中学校に出向いて防犯を訴える「ふれあい出前非行防止教室」や清掃ボランティア、地域の特産品を使った食品開発、交通安全キャンペーンなど、地域に貢献するさまざまな活動を行っている。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立高岡高等学校
(定時制 普通科)

所在地	土佐市高岡町甲 2 2 0 0	アクセス	とさでん交通高岡高校前バス停から徒歩 1 分
T E L	0 8 8 - 8 5 2 - 1 1 6 8		
通学方法	自転車 2 0 名、バイク 1 2 名、乗用車 6 名、その他 6 名		
生徒数	普通科 4 4 名 (1 年次 1 3 名、2 年次 1 7 名、3 年次 8 名、4 年次 6 名)		
校訓 および 校章	校訓  熱意：高い目標を持ち、一生懸命取り組む 創意：自ら考え、新しいものを創り出す 誠意：正直で、人を思いやる心を持つ		校章  若葉 3 枚を配し、鏡をバックに若芽つる 3 本で構成。鏡を入れることで、男女共学を意味し、ともに切磋琢磨しながら社会人になることを願う。若葉は、所在地藤並町の藤からとっている。
			創立 7 1 年 スクールカラー 紫紺
沿革	S 23 高知県立高岡中学校、同高等女学校設立 S 23 高知県立高岡高等学校、同併設中学校に改称、定時制課程併置 S 26 夜間部設置認可、授業その他は全日制教員が兼務 S 32 中心校に専任を置く H 19 単位制に改編 H 26 三修制本格実施 H 28 聴講制度開始	(沿革コメント) 昭和 2 1 年、高岡町外 6 ヶ村組合立高岡高等学校同組合青年学校を解散し、高岡中学校、同高等女学校として設立する。 昭和 2 3 年、高岡高等学校、同併設中学校と改称し、定時制課程を併置。同年、宇佐町と戸波村に分校を設立するが、昭和 4 8 年に戸波分校、平成 1 1 年に宇佐分校が閉校となる。 平成 1 9 年より単位制に移行し、平成 2 6 年から三修制が本格実施となる。	
基本情報	教育方針 生徒に生きる力(確かな学力・豊かな人間性・健康な心と体)と自分の人生を切り拓いていく力をつけ、地域や社会の一員として自立し、貢献できる人材を育成する。 (1) 基礎学力の向上 (2) 基本的生活態度の育成 (3) 進路希望の実現 (4) 生徒理解と支援 (5) 人権教育の推進・充実		
	進路状況 昨年度の卒業生は 9 名。進学 6 名(大学 1 名、専門学校等 6 名)、就職 2 名。 進学者 2 名のみ県外、他は県内。		
	部活動 バドミントン・卓球・文化部。		
	主な出身中学 1. 高岡中 2. 伊野中 3. 朝倉中 4. 春野中		
教職員数 教員(期講・時講を含む) 1 1 名・事務職員 1 名・給食パート職員 4 名			
学校の特色	○ 土佐市で唯一の夜間定時制高校であり、通学地域は広く、土佐市、いの町、高知市等から通学している。 ○ 3 年での卒業ができるよう、0 限・定通併修・学外の学修や技能審査の単位認定・実務代替等の制度を構えている。 ○ 様々な課題を抱える生徒に対応できるよう、特別支援教育の充実を図り、一人ひとりに対するきめ細かな指導を目指している。 ○ 教育活動の中心にキャリア教育をすえ、外部講師を招きながら、進路に対する意識の向上と進路実現を図っている。 ○ スポーツ大会や遠足等の学校行事を通じて、学校生活へのスムーズな適応を図り、よりよい人間関係を構築し、さらにはコミュニケーション能力の向上を図っている。 ○ 地元の新鮮で安全な食材を使った夜間給食を提供し、食育を推進している。		

(平成 2 9 年 5 月 1 日現在)

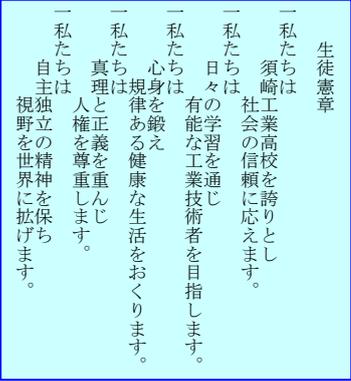
高知県立高知海洋高等学校
(全日制 海洋学科・航海専攻科・機関専攻科)

所在地	土佐市宇佐町福島1番地	アクセス	とさでん交通バス「宇佐」行き「海洋高校前」下車。(高知駅より1時間)	
TEL	088-856-0202			
通学方法	徒歩30名、自転車46名、バス12名、バイク56名			
生徒数	海洋学科(144名)・航海専攻科(11名)・機関専攻科(8名) 1学年40名・2学年56名・3学年48名・専攻科1年9名・専攻科2年10名			
校訓および校章	校訓 「天空海闊」 理想は天空の如く高く気高く、心は大海の如く広く豊かであれ  校舎正門付近		校章  海を表す「波」をモチーフに、高知・海洋の頭文字「K」を組み合わせ、円形(地球・和)の中央に高校の「高」の字を配し、未来への飛躍を表現したものである。 (制作者：香川喜文氏)	
			創立21年	スクールカラー ブルー
沿革	H8 高知県立高知海洋高校として開校 H9 第1期生入学、航海専攻科、機関専攻科、情報通信専攻科の設置決定 H10 専攻科一期生入学 H18 海洋学科1科4類型 H21 海洋学科1科3類型 船舶職員養成課程設置を設置 H23 第5代目土佐海援丸竣工		(沿革コメント) 平成8年、海を多面的にとらえ、海に対する豊かな知識・技術と逞しいチャレンジ精神を育成し、海洋新時代に対応できる教育を目指して、3科6コースからなる水産海洋系高校として開設された。 平成18年には、入学後に進路選択が可能になるよう総合型学科である海洋学科に改編し、平成21年度より入学時から船舶職員をめざす養成課程を導入し現在に至る。	
基本情報	教育方針 海洋高校ならではの恵まれた施設や環境を活用し、知識、技術習得の教育実践をとおして、豊かな人間性を育て、生徒自らが社会に貢献したいと思うような人材育成を目指す。			
	進路状況 大学1名(3%)<内 国公立大学0名>、専修等3名(8%)、専攻科9名(24%) 県内就職10名(27%)、県外就職12名(32%)、その他1名(3%) 28年度は就職・進学希望者の進路決定率100%であった。 就職では県内指向が強まっている。			
	部活動 体育系8部、文化系3部、同好会2部 H28 出場：四国大会1部、H27：全国大会1部、H26：国体1部、全国大会1部			
	主な出身中学 1. 土佐南中 2. 三里中 3. 朝倉中 4. 西部中 5. 高岡中			
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含)41名、実習助手3名、事務職員等28名(船員含)			
	○県内唯一の水産・海洋系専門高校として、船・海・魚のスペシャリストの育成を目指す。 ○大型船舶運航に必要な海技免状(航海・機関)の国家資格取得を目指した、5年一貫の「船舶職員養成課程」と高校卒業後に入学可能な専攻科(航海・機関)を設置している。 ○食品の製造・加工が可能な全国有数の最新設備を生かして、「地域」「安全」「有効利用」「災害備蓄」などをキーワードとした食品の開発に取り組んでいる。 ○実習船土佐海援丸をはじめ、航海や機関に関する豊富な施設等の活用や小型実習船を使用し、海を多面的に捉えた実習を多く取り入れている。 ○フィッシング・カヌー・マリンドайビング・食品科学など、水産・海洋系高校ならではの部活動やマリンスポーツデーなどの独自の学校行事を恵まれた環境を活用して行っている。 ○小型船舶操縦士、潜水土、海上特殊無線技士、食品技能検定などの各種資格取得が可能。 ○寮施設も併設。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立須崎工業高等学校

(全日制 機械科・造船科・電気情報科・ユニバーサルデザイン科・機械系学科・電気情報系学科・システム工学系学科)

所在地	須崎市多ノ郷和佐田甲4167の3	アクセス	JR土讃線 大間駅から徒歩15分
TEL	0889-42-1861		
通学方法	徒歩17名、自転車71名、JR110名、バス0名、バイク32名、その他19名		
生徒数	機械科70名、造船科43名、電気情報科41名、ユニバーサルデザイン科31名(2・3年生) 機械系学科25名、電気情報系学科19名、システム工学系学科20名(1年生) 1学年64名、2学年93名、3学年92名 合計249名		
校訓および校章	校訓 校訓の代わりに 生徒憲章 がある。 		校章  船の「錨(いかり)」と生徒が羽ばたく「羽」を象徴したものです。
	 校舎玄関付近		創立 76年 スクールカラー 特に規定なし
沿革	S16 高知県立須崎工業学校として開校(機械科一種)(機械科二種)第一期生入学 S19 造船科増設 S27 電気通信科増設 S34 化学工業科増設 S42 高知県教育委員会規則の変更により[機械科・造船科・化学工業科・電気科]と改める H16 化学工業科廃止 H18 ユニバーサルデザイン科新設 H29 機械系学科・電気情報系学科・システム工学系学科に改編 創立76年	(沿革コメント) 須崎市出身元郵政大臣 寺尾豊氏の巨額の私財提供に端を発し、県当局ならびに須崎町を中心とする地元町村民の物心両面にわたる多大な協力のもとに高知県立須崎工業学校として昭和16年4月創立。昭和23年4月学制改革により、高知県立須崎工業高等学校となった。本年度で創立75年の歴史と伝統を誇る高吾地域唯一の工業高校である。	
基本情報	教育方針 一般教養を高め、人格のかん養と強健な身体の練成に努め、更に工業に関する知識と技術・技能を修得させる。 1 勤勉 2 規律 3 友愛 4 美化		
	進路状況 大学1名(1.0%) 短期大学1名(1.0%) 専修等15名(14.6%) 就職県内34名(33.0%) 就職県外52名(50.4%) 8割以上の生徒が就職しており、大手一流企業からの求人が多い。 毎年就職・進学内定率100%を達成している。		
	部活動 体育系 10部、文化系 8部、同好会 1部 造船部：柳川ソーラーボート大会4年連続優勝、 機械工作部：技能士資格取得多数 ソフトボール部、バスケットボール部、ハンドボール部等県大会上位に入る活躍をしている。		
	主な出身中学 1. 朝ヶ丘中 2. 佐川中 3. 須崎中 4. 葉山中 5. 越知中		
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含)48名・実習助手(期付含)2名・事務職員等5名		
	工業高校の基本となる機械科と電気情報科に加え、全国の高等学校で唯一の造船科とユニバーサルデザイン科が設置されている(現2・3年生)。ものづくりを通して防災教育をはじめ、新しい未来志向の学習を展開している。 平成29年度入学生(現1年生)より3学科6専攻【機械系学科(機械・造船)、電気情報系学科(電気・電子情報)、システム工学系学科(機械制御・住環境)】編成となる。新しい実習設備の導入により、各専攻で充実した専門知識の技術、技能を学習している。 須崎市ヘドラゴンカヌーを寄贈したことに始まるドラゴンカヌー大会に代表されるように、数多くの地域おこし活動に貢献している。また、各学期に周辺地域の方とともに清掃活動の実施や防犯・防災活動に取り組み、内閣府の「社会貢献青年表彰」・ぼうさい甲子園「優秀賞」を受賞するなど高い評価を得ている。 卒業後の進路は、県内はもとより県外の手一流企業へ就職しており、100%の就職決定率を保障している。また、進学面でも高知工科大学をはじめ工業系大学への進学に実績がある。平成31年4月に須崎高等学校と統合し、『須崎総合高等学校』となる。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立須崎高等学校
(全日制 総合学科・普通科)

所在地	須崎市下分甲391-2	アクセス	JR土佐新莊駅から徒歩10分、 とさでん交通バス須崎高校前下車すぐ
TEL	0889-42-1744		
通学方法	徒歩2名、自転車107名、JR66名、バス7名、バイク24名、その他43名		
生徒数	総合学科157名(2年生95名、3年生62名)、普通科92名(1年生92名)、 合計249名		
校訓 および 校章	校訓 「協同親和」「自主自律」「究理創造」 3つの校訓により、思いやる心を大切にして助け合い、自らの意志で努力を続け、生きる目標を探す創造性豊かな生徒を育てます。		校章  昭和23年9月、坂本義信講師考案の校章が制定された。平和のシンボルである鳩が向かい合った「双鳩」が、羽ばたいている様子を図案化したものである。この双鳩には、男女共学の理念も込められている。
			創立71年
沿革	S21 須崎中学校・高等女学校として開校 S23 須崎高等学校と改称 久礼町に被服課程設置 S29 商業科設置 S59 新校舎(北舎)完成 S60 新校舎(南舎)完成 H8 創立50周年記念式典挙行 H14 総合学科に改編する H15 総合学科棟完成 H17 バリアフリー化建築工事完成 H20 久礼分校閉校 H28 安全功労者内閣総理大臣表彰受賞 H29 普通科に改編、制服変更		(沿革コメント) 本校は昭和21年、須崎市はもとより近隣町村の方々の熱意と支援により、須崎中学校・高等女学校として開校した。 平成14年、総合学科に改編され、多様な生徒の進路希望を実現してきた。 平成28年、防災・減災に関する取り組みが評価され「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した。 平成29年、普通科に改編され、自ら学ぶ態度を育て、確かな学力の向上と将来を切り拓く力を育成している。 平成31年、須崎総合高等学校に統合される予定。
	教育方針 日本国憲法ならびに教育基本法の趣旨に基づき、生徒の個性の伸長につとめ、人格の完成をめざし、国家及び社会の有為な形成者を育成する。この目的を達成するため、次の目標を定める。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い知性を身につけよう 2. 豊かな人間性を養おう 3. 強い意志を持とう 4. 自主性のある人間になろう 5. 心身を鍛えよう 6. 未来社会の担い手になろう 		
基本情報	進路状況 大学26名(26.0%)〈内 国公立大学9名〉 短大14名(14.0%) 専修等44名(44.0%) 就職県内11名(11.0%) 就職県外4名(4.0%) その他1名(1.0%) 大学進学講座、模擬試験受験、双鳩堂(自習室)設置など、国公立大学への進学を伸ばすための取り組みを実施している。		
	部活動 体育系10部、文化系14部 将棋部は全国大会出場。書道部は種々の大会で受賞。商業部は様々なイベントで活躍。		
	主な出身中学 1. 窪川中 2. 朝ヶ丘中 3. 須崎中 4. 葉山中 5. 久礼中		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)43名・実習助手(期付含)2名・事務職員等4名		
	総合学科では、多様な生徒の進路希望を実現するために幅広い選択科目を設けるとともに、キャリア教育にも取り組んでいます。普通教科・科目はもとより、商業・芸術・体育・家庭・外国語に関する専門科目も多数設置しています。 平成29年度入学生からは普通科の募集になりました。1年次は全員共通の科目を履修しますが、2年次からのコース制導入など、従来の総合学科で培った特色を生かした学校づくりをしていきます。また、大学進学に向けたクラスでは、国公立4年制大学の受験に対応した授業、補習、模試等を行います。 さらに、部活動や生徒会活動、防災・減災教育にも力を注いでおり、整った教育環境のもとで充実した高校生活を笑顔で送ることができます。 なお、平成31年度からの須崎総合高等学校への統合に向けて、須崎工業高校との交流も行われています。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立須崎高等学校
(定時制 普通科)

所在地	須崎市下分甲391-2	アクセス	JR土佐新荘駅から徒歩10分 とさでん交通バス須崎高校前下車 すぐ		
TEL	0889-42-1744				
通学方法	自転車7名、徒歩2名、バイク4名、自家用車2名、その他2名				
生徒数	普通科17名 1年次2名、2年次5名、3年次8名、4年次2名				
校訓 および 校章	校訓 「協同親和」「自主自律」「究理創造」 3つの校訓により、思いやる心を大切に して助け合い、自らの意志で努力を続け、生き る目標を探る創造性豊かな生徒を育てます。 		校章  昭和23年9月、坂本義信講師考案の 校章が制定された。平和のシンボルであ る鳩が向かい合った「双鳩」が、羽ばた いている様子を図案化したものである。 この双鳩には、男女共学の理念も込めら れている。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>創立69年</td> <td>スクールカラー 規定なし</td> </tr> </table>	創立69年	スクールカラー 規定なし
	創立69年	スクールカラー 規定なし			
沿革	S23 須崎中学校・高等女学校として 開校 S23 須崎高等学校と改称 S24 定時制普通科（夜間課程）設置 S28 定時制普通科第1回卒業式 H11 創立50周年記念式典挙 行 H15 総合学科棟完成 H17 バリアフリー化建築工 事完成	(沿革コメント) 本校定時制の課程は昭和24年に普通科とし て設置され、平成11年に創立50周年記念式 典を挙行し、今年度、設置69年目を迎える。 全日制が総合学科に改編されたことにとま ない、平成15年、北舎のさらに北側に総合学科 棟が完成し、定時制課程の教育活動は総合学科 棟2・3階で行っている。			
基本 情報	教育方針 生徒の個性の伸長につとめ、人格の完成をめざし、国家及び社会の有為な形成者を育成する。 1. 高い知性を身につけよう 2. 豊かな人間性を養おう 3. 強い意志を持とう 4. 自主性のある人間になろう 5. 心身を鍛えよう 6. 未来社会の担い手になろう				
	進路状況 4年制大学1名、専修学校1名、就職2名【県内1名、県外1名】、その他1名				
	部活動 県定通体育大会には、バドミントン・卓球の2種目で参加。 平成28年度卓球（男子）団体3位				
	主な出身中学 1. 須崎中 2. 朝ヶ丘中 3. 葉山中・久礼中				
学校 の 特色	教職員数 教員（期付含む）9名・事務職員等1名				
	○本校は単位制で、74単位以上修得すれば（必修科目を含む）高校卒業資格が取得できます。 ○学校は1週間に5日間（月～金）、1日に40分授業が4回の4時間授業です。 ○授業は午後6時から始まり午後9時10分に終わります。 ○完全給食を1食300円で実施しています（午後6時40分～午後7時が給食時間）。 ○授業は、基礎的な内容を学習します。少人数の家庭的な雰囲気の中で学習します。 ○過去に高校に在学していた生徒は、そのときの学習成果（修得単位）を認定しますので、3 年以内で卒業することもできます。				

(平成29年5月1日現在)

高知県立佐川高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高知県高岡郡佐川町乙1789-5	アクセス	J R 西佐川駅から徒歩15分 黒岩観光バス路線有
TEL	0889-22-1243		
通学方法	徒歩7名、自転車57名、JR17名、バス6名、バイク6名、保護者の車38名		
生徒数	普通科 合計(131名) 1学年(36)名・2学年(45)名・3学年(50)名		
校訓 および 校章	校訓 校是「いのち輝け」  <p>「雅の里に理想を燃やし、若き命を輝かせ、世界に幸せ結ばん。」 歩むべき方を高く見据え、龍の如く頭を天に向かい、その行いは蛇のように綿密に泥叢に深く分け入って、勉強刻々にいのち息付き、その成果は己一人の想いに滞らず、広く世の人々に至らんとするの意。</p>	校章  <p>佐川町は古くから桜の郷として有名であり、桜の花をデザイン化したものである。 左右の円弧は桜の若葉を表し、中央下の小円はサクランボを表している。</p>	
		創立95年	スクールカラー 桜色
沿革	T11 高知県立佐川高等女学校として開校 S23 新制高知県立佐川高等学校設置 仁淀分校設置 S24 高知県立佐川高等学校設置 S25 日下分校設置 S31 仁淀高校分離独立 S51 日下分校閉校 H23 仁淀高校が本校に統合 H24 創立90周年	(沿革コメント) 大正11年、佐川高等女学校が創設され、以来高吾北地区の教育文化の発展にその役割を果たす。戦後の高等学校再編成に伴い県立佐川高等学校と改称され、伝統ある校風を受け継ぎ、男女共学の高等学校として再出発した。 昭和43年度本館、食堂、プール落成。45年度格技場落成。46年度屋内体育館落成。58年度南校舎落成等。平成23年度本館耐震補強工事完成。25年度グラウンド改修工事完成。27年度体育館耐震補強工事完成。	
基本情報	教育方針 生徒一人一人の夢の実現を目指し、個性と人権を尊重しつつ社会人として、「生きる力」を持った健全な人材の育成に努める。 1 学力向上 2 基本的な生活習慣の確立 3 生きる力の育成 4 キャリア教育の推進		
	進路状況 <ul style="list-style-type: none"> ・大学4名(8.7%) <内 国公立大学1名> ・短大5名(10.9%) ・専修等22名(47.8%) ・就職県内9名(19.6%) ・就職県外5(10.9%) ・その他1名(2.2%) 		
	部活動 体育系6部、文化系9部、 昨年度ソフトボール部男子は、高知県高等学校ソフトボール競技の部(県体)、春季・秋季・全国選抜大会において全て優勝し、インターハイ・全国大会に出場した。		
	主な出身中学 1.佐川中 2.池川中 3.越知中 4.仁淀中 5.日高中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)24名 ・実習助手1名 ・事務職員等3名		
学校の特徴	○95年の歴史と伝統 江戸時代の名教館より続く文教の町である佐川町にあり、大正11年に佐川高等女学校として創立された。1万人を超える卒業生を輩出している県内有数の歴史ある学校である。 ○いのち輝け さくら咲くプロジェクト 地域に根差したキャリア教育を行うもので、27年度入学生から学年進行で実施している。1年生は、高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材へと成長するために、佐川高校生の主な出身町村である4カ町村の歴史や文化、産業を現地で学ぶ。2年生は、インターンシップに取り組み、地域で体験学習を実施する。3年生は、出身町村の「持続可能な町・村づくりに」向けて、生徒自身による提言を行う。 ○佐高検定チャレンジ支援制度 本校の持続可能な取り組みとして、学校が指定した資格検定の中から、生徒が希望する検定試験の費用を支援するものである。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立佐川高等学校

(定時制 普通科)

所在地	高知県高岡郡佐川町乙1789-5	アクセス	J R 西佐川駅から徒歩15分 黒岩観光バス路線有
TEL	0889-22-1243		
通学方法	自転車12名、徒歩3名、その他7名		
生徒数	普通科22名 1年次8名、2年次4名、3年次6名、4年次4名		
校訓 および 校章	校訓 校是「いのち輝け」 「雅の里に理想を燃やし、若き命を輝かせ、 世界に幸せ結ばん。」 歩むべき方を高く見据え、龍の如く頭を天 に向かい、その行いは蛇のように綿密に泥叢 に深く分け入って、勉励刻々にいのち息付 き、その成果は己一人の想いに滞らず、広く 世の人々に至らんとするの意。		校章  佐川町は古くから桜の郷として有名であり、 桜の花をデザイン化したものである。 左右の円弧は桜の若葉を表し、中央下の小円 はサクランボを表す。
			創立68年
沿革	S23 定時制の課程設置 H19 単位制導入 	(沿革コメント) 平成19年度から単位制を導入し、現在に至っ ている。 平成21年度から3修制を取り入れる。	
基本 情報	教育方針 生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性と人権を尊重しつつ社会人として、「生きる力」 を持った健全な人材の育成に努める。 1 基本的な生活習慣の確立 2 基礎学力の定着 3 「生きる力」の育成 4 キャリア教育の推進		
	進路状況 専修1名(25%) 県内就職2名(50%) 県外就職1名(25%)		
	部活動 なし		
	主な出身中学 1. 佐川中 2. 越知中		
学校 の 特色	教職員数 教員(期講及び時講含)9名・事務職員1名		
	働く青年や社会人に対して、「働きながら学ぶ」場や「学び直し」の場を保障している。 「自己理解を深め、夢を実現できる学校」を目指し、基礎基本を重視した授業に取り組んで いる。また、生徒会行事については生徒全員が積極的・主体的に取り組んでいる。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立窪川高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡四万十町北琴平町6-1	アクセス	JR窪川駅から北へ徒歩約10分
TEL	0880-22-1215		
通学方法	徒歩13名、自転車38名、JR13名、バス7名、バイク6名、その他22名		
生徒数	普通科(99名) 1年生27名、2年生40名、3年生32名		
校訓および校章	校訓 「友愛」・「誠実」・「勤勉」 		校章 全体の形は「山や谷を有する高南台地」を、3つの角は「親、善、美」を表しています。また、中の人の字は、高南台地の山並みを、そして、これらが一つの輪になって盛り上げていこうという願いが込められています。
			創立75年目 スクールカラー 紺
沿革	S17 高知県立窪川農業学校として、農業科、林業科、女子部を置き開設。 S23 学制改革により新制高校となり、校名を高知県立窪川農業高等学校とする。 S24 普通科設置。高知県立窪川高等学校とする。 S57 農業科廃止。普通科単独校。 H24 創立70周年を迎える。 (定時制課程は閉課程) H26 コース選択(地域リーダー養成コース、大学進学コース)を導入する。		(沿革コメント) 昭和17年に農業学校として農業に携わる若い人材を育成することを目的に開校する。 高南台地の最高学府として次の世代を育て、希望と情熱に溢れ、勇気に満ちて日々新たな教育文化の向上に資する強い思いがあった。 昭和57年には農業科への入学者数の減少に伴い、農業科は廃止となる。普通科単独校として今日の原型となる「進学型」「就職型」の二つの類型を設け、現在に至る。
基本情報	教育方針 (1) 真理の探究 基礎的・基本的な知識や技術を身につけ、自分の目標に向かってさらなる努力ができる生徒を育成する。 (2) 勤労の愛好 自らの能力や適性を伸ばし、高い進路目標に向かって努力できる生徒を育成する。 (3) 品性の涵養 礼儀正しい態度や人を思いやる心を育て、積極的に社会に貢献しようとする生徒を育成する。		
	進路状況 大学6名(18.1%) <国立大学1名> 短大2名(6.1%) 専修等15名(45.5%) 公務員1名(3%) 就職県内6名(18.2%) 就職県外2名(6.1%)		
	部活動 体育系 7部 (野球、陸上競技、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトテニス) 文化系 5部 (文芸・演劇、音楽、美術、食物・手芸、茶華道)		
	主な競技成績 ソフトテニス部 12年から休部状態であった四国大会出場の実績のあるソフトテニス部が復活 音楽部 高知県高等学校軽音楽演奏会軽音楽祭(全国軽音楽コンテスト県予選大会)等に出場するだけでなく、台地まつりなどの地域の行事にも参加し、地域活性化に貢献 美術部 第24回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)本選出場		
	主な出身中学 1. 窪川中81名 2. 佐賀中5名 3. 興津中4名 4. 久礼中3名 5. 朝ヶ丘中2名		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)23名、実習助手 1名、事務職員等(臨時含)5名		
	教育課程 1年次は共通、2年次よりI型(地域リーダー養成コース)とII型(大学進学コース)に分かれて、進路希望に応じた学習(授業・補習等)を行います。 I型……商業系と農業系に分かれ、実習や地域課題研究等、実践的な学習を行うとともに、各種検定・資格取得を目指します。 II型……理系と文系に分かれ、国立大学や私立大学、短期大学や看護医療系の専門学校等への進学に対応した学習を行います。		
	生徒会活動 体育祭や文化祭、ホームマッチ、清掃活動など多くの行事を自主的に企画・実行するなど活発であり、小・中学校や地域と積極的に連携を図り、生徒会新聞等を通じて地域への情報発信を行っています。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立梶原高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡梶原町梶原1262	アクセス	JR須崎駅より高陵交通バスで1時間、停留所より徒歩5分
TEL	0889-65-0181		
通学方法	徒歩46名、自転車14名、JR0名、バス5名、バイク36名、その他27名		
生徒数	普通科(128名) 1学年43名・2学年31名・3学年54名		
校訓および校章	校訓 自律心に徹し、誠を愛せよ 個性の伸長に志し、品格を磨け 真理の探求に志し、社会に貢献する人 		校章  開校当時の津野山地域6地区の発展・充実と生徒の成長を願い、「梶の木」の葉6枚をモチーフとした校章を策定した。 創立83年
			スクールカラー えんじ色
沿革	S9年 梶原村立孝山塾青年学校として開校 S24年 高知県立梶原高等学校と改称、普通科・農業科(後の農林科)を設置 S49年 農林科募集停止 H13年 連携型中高一貫教育校開設	(沿革コメント) 昭和9年、梶原村立孝山塾青年学校として開校する。昭和24年、高等学校再編により、高知県立梶原高等学校に改称。昭和49年には農林科が募集停止となるが、農業コースを残し、農業分野の充実・発展に寄与する。 平成13年、梶原中学校・東津野中学校との間で津野山地域中高一貫教育校を開設。本地域の教育の拠点として、生徒の健全育成に励む。	
基本情報	教育方針 ・・・生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人としての真の学力・生きる力を持った健全な人材の育成に努める。 ■学力の向上～希望進路の実現～ ■心身ともに豊かな人間性・社会性の涵養(育成) ■社会や地域に貢献する人材の育成 学校経営構想 ・・・「社会や地域に貢献できる人づくり」のため、キャリア教育の推進を図る。		
	進路状況 ・大学 6名(23.1%)<内 国公立大学2名> ・短大 0名(0.0%) ・専修等 8名(30.8%) ・専攻科 0名(0.0%) ・就職県内7名(26.9%)<公務員1名> ・就職県外5名(19.2%)<公務員3名> ・その他 0名(0.0%) 【進路決定率100%】		
	部活動 体育系8部、文化系3部 【平成28年度 活動実績】 梶原ディスカバークラブ ：第5回高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田大会に出場 硬式野球部 ：第70回春季四国地区高等学校野球大会高知県予選ベスト4 硬式テニス部 ：2016日本ジュニアテニス選手権大会四国地域予選出場 アーチェリー部 ：平成28年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場		
	主な出身中学 1. 梶原中 2. 東津野中 3. 佐川中 4. 朝ヶ丘中、窪川中、三里中		
教職員数 教員(期講及び時講含)20名・実習助手(期付含)1名・ALT1名・事務職員等4名			
学校の特色	四万十川上流域にある本校は、連携型中高一貫教育校として東津野・梶原の2中学校と連携教育を行っている。中高一貫6年間の計画的・継続的な教育活動により、生徒の学力の向上、個性の伸長、郷土愛の育成、地域の発展に貢献できる人材の育成を目指し、①学力の向上(中高教員の交流授業、連携教材づくり)、②生徒会や部活動、各学校行事等の活動・交流、③神楽の伝承、アーチェリーの競技力向上等を実践している。 本校は、キャリア教育を教育活動の柱とし、生徒の適性や希望進路に応えるため、農業・家庭・情報に関する科目を設置するとともに、英語・数学において、中高教員による少人数の習熟度別学習を取り入れ、学力の向上を図っている。また、生徒の自己実現のために、キャリア教育をテーマとした総合的な学習の時間、進路ガイダンス、キャリア教育講演会、大学・企業訪問、面接マナー講座、総合的な学習の時間発表会等を実施している。部活動では、アーチェリー部や梶原ディスカバークラブ(神楽)が全国大会に出場し、野球部は春季四国地区高等学校野球大会高知県予選でベスト4になるなど部活動も活発である。 また、家庭クラブ・農業クラブ、生徒会活動、ボランティア活動等も盛んであり、地域に根ざした教育を実践している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立四万十高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡四万十町大正590-1	アクセス	JR土佐大正駅から徒歩7分
TEL	0880-27-0034		
通学方法	徒歩23名、自転車16名、JR8名、バイク0名、バス2名、その他3名		
生徒数	普通科普通コース36名、普通科自然環境コース16名 1学年13名、2学年20名、3学年19名 合計52名		
校訓 および 校章	校訓 真理の探究 勤労の愛好 個性の尊重 	校章  ブルーで「四万十川の清流」、 グリーンで「緑の自然環境」を 表すとともに、伸びゆく生徒の 若い力、未来に向けた環境教育 を推進する学校の姿、無限の広 がり表現している。	
		創立 63 年	スクールカラー 規定なし
沿革	S29.5 窪川高等学校大正分校（定時制 林業科）として開設 S40.4 校名を大正高等学校とし、独立 校として発足 S55.4 林業科の募集停止 H11.4 校名を四万十高等学校と改称、 普通科自然環境コースを設置 H14.4 寄宿舎「木の香寮」を設置	(沿革コメント) 定時制林業科の分校として設置され、全日制 に改編、普通科を併設して本校となる。 平成11年4月に県外から志願できる普通科自 然環境コースを設置した際には、寄宿舎が完成 するまで生徒を受け入れる等、地域からの手厚 い支援をいただいた。地域との連携による教育 活動を展開できることも本校の強みである。	
基本 情報	教育方針 教育基本法に則り、社会の変化に主体的に対応できる豊かな心と強い意志、幅広い知識をもった人間の育成を目指すとともに、地域社会の期待に応え信頼される教育を推進する。 1 自然と共鳴し、調和して生きる感性豊かな生徒を育てる。 2 情報化、グローバル化、少子高齢化が進展する社会の諸課題に知的かつ創造的対応し、それぞれの地域で活躍できる生徒を育てる。 3 生徒一人ひとりの個性を尊重し、人格形成や将来の自己実現に向けた教育を行う。		
	進路状況 大学4名(18.2%) 短大1名(4.5%) 専修学校等5名(22.7%) 就職県内7名(31.8%) 就職県外3名(13.6%) ※ 進学は資格取得を目指した分野に進む傾向があり、就職では県内就職が多い。		
	部活動 体育系3部、文化系6部 ソフトボール部(男子)は平成23~24年度に県大会で準優勝2回し、平成29年度は幡多支部大会で優勝している。バレーボール部(女子)は、県大会で3年連続決勝トーナメントに進出した。自然環境部は高校理科研究発表会で数多く入賞しており、家庭科部や緑葉部は地域行事に積極的に参加している。		
	主な出身中学 1. 大正中 2. 十川中(昭和中) 3. 北ノ川中 4. 窪川中、久礼中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)20名・実習助手1名・事務職員等4名		
学校 の 特色	大正・十和地域の出身の在学生比率は、普通科では89%であり、大学進学や公務員就職など幅広い進路をめざし、学習に取り組んでいる。自然環境コースでは、地域外から半数の生徒が入学しており、旧窪川町が13%、四万十町外31%となっている。 学校は非常に落ち着いており、3中学校との連携型中高一貫教育を通して、豊かな自然環境や地域の良さを学ぶ教育活動に取り組んでいる。また、自然環境コースは、地域のフィールドワークを中心に、森学習・川学習・海学習の研修を活かして、体系的に森と川と海のつながりを学習している。学校周辺の四万十川だけでなく、その支流の黒尊川での研修など、幅広い体験活動を行い、環境学習の発表会でのプレゼンや卒業研究(論文作成)に取り組んでいる。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立大方高等学校
(全日制 [単位制] 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7	アクセス	土佐くろしお鉄道 土佐入野駅から徒歩 5 分																
TEL	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9																		
通学方法	徒歩5名、自転車 16 名、土佐くろしお鉄道 19 名、自転車・鉄道 35 名、バイク4名、その他 14 名																		
生徒数	普通科 (93 名) 1 年次 31 名、2 年次 28 名、3 年次 34 名																		
校訓および校章	校訓「自主・努力・創造」 		校章  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の「大」の頭文字 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 <p>校章は、この 3 点を組み合わせた図案である。 大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。</p>																
			創立 13 年	スクールカラー 青															
沿革	平成 17 年 県立高等学校再編計画(平成 15 年)により、多部制単位制普通科高校として開校 平成 29 年 県立高等学校再編振興計画(平成 26 年)により、全日制単位制普通科設置 (創立 13 年目)		(沿革コメント) 平成 17 年 4 月 1 日県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 平成 29 年度より、全日制単位制普通科高校として、人権教育を基盤とした生徒指導・支援により、生徒が持っている「力を引き出す」ことができる学校を目指して取り組んでいる。																
基本情報	教育方針 日本国憲法と教育基本法に基づき、国家・社会に有為な人材としての資質を高め、豊かな教養を培うとともに、心身ともに健康で自主的精神に満ちた人間を育成する。 教育重点目標 ア 基礎学力の定着と学力の向上を図るため、学習指導と授業規律の充実に取り組む。 イ 社会性を身に付けた人材を育成するとともに、きめ細かな進路指導を行い、一人ひとりの進路希望の実現に向けて取り組む。 ウ 開発的・予防的生徒指導を核とし、生徒理解と生徒支援の充実により強みを伸ばすとともに、キャリア教育をとおして在り方生き方教育に取り組む。 エ 家庭・地域・小中学校・関係機関と連携し、開かれた学校づくりを推進するとともに、防災教育などの充実により、特色ある学校づくりに取り組む。																		
	進路状況 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>大学</td> <td>5 名 (10.6%)</td> <td>(内 国公立大学 1 名)</td> <td>短大</td> <td>5 名 (10.6%)</td> </tr> <tr> <td>専修等</td> <td>17 名 (36.2%)</td> <td>就職県内</td> <td>9 名 (19.1%)</td> <td>就職県外</td> <td>8 名 (17.0%)</td> </tr> <tr> <td>専攻科</td> <td>0 名 (0%)</td> <td>その他</td> <td>3 名 (6.4%)</td> <td></td> </tr> </table>			大学	5 名 (10.6%)	(内 国公立大学 1 名)	短大	5 名 (10.6%)	専修等	17 名 (36.2%)	就職県内	9 名 (19.1%)	就職県外	8 名 (17.0%)	専攻科	0 名 (0%)	その他	3 名 (6.4%)	
	大学	5 名 (10.6%)	(内 国公立大学 1 名)	短大	5 名 (10.6%)														
	専修等	17 名 (36.2%)	就職県内	9 名 (19.1%)	就職県外	8 名 (17.0%)													
	専攻科	0 名 (0%)	その他	3 名 (6.4%)															
部活動 体育系 9 部、文化系 7 部 陸上部：第 64 回四国陸上競技選手権大会兼第 58 回四国四県対抗陸上競技大会に出場 簿記・ワープロ部：全国高等学校簿記コンクールに出場																			
主な出身中学 1. 中村中 2. 中村西中 3. 大方中 4. 佐賀中 5. 下田中																			
教職員数 教員(期講及び時講含) 29 名・実習助手 2 名・事務職員等 5 名																			
学校の特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶ意欲を持つ生徒へ門戸を開く学校として、他者を思いやり尊重する心や共感する心を育み、協力し合いながら人間関係を築いていこうとする態度やコミュニケーション能力を育成します。 ○ 全日制単位制高校として、多様な教育課程の編成や学校外での学修(ボランティア活動、資格取得等)の単位認定など、生徒の多様なニーズに応える「学び」のシステムを生かして、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばしていきます。 ○ 入学時から計画的なガイダンスを実施するとともに、学校生活や心に関するカウンセリングをきめ細かく行います。 ○ 地域や大学との連携による自律創造型地域課題解決学習、町や企業と連携した活動などを通して、地域社会の将来を担う人材の育成に努めます。 																		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立大方高等学校
(定時制 [多部制単位制] 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7	アクセス	土佐くろしお鉄道 土佐入野駅から徒歩 5 分
TEL	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9		
通学方法	自転車 3 名、鉄道 4 名、バイク 6 名、自家用車 1 名、その他 7 名		
生徒数	普通科 (21 名) 1 年次 4 名、2 年次 6 名、3 年次 9 名、4 年次 2 名		
校訓および校章	校訓「自主・努力・創造」 		校章  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の「大」の頭文字 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 校章は、この 3 点を組み合わせた図案である。 大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。
			創立 13 周年
沿革	平成 17 年 県立高等学校再編計画 (平成 15 年) により多部制単位制普通科高校として開校 (創立 13 年)		(沿革コメント) 平成 17 年 4 月 1 日県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 幡多地域の多部制単位制高校としてキャリア教育、開放講座を実施。 定時制では、多様な生徒のニーズに応える工夫として、三修制の推進、スキルアップ支援に取り組んでいる。
基本情報	教育方針 日本国憲法と教育基本法に基づき、国家・社会に有為な人材としての資質を高め、豊かな教養を培うとともに、心身ともに健康で自主的精神に満ちた人間を育成する。		
	教育重点目標 I 学習指導の充実に取り組み、基礎学力の定着と学力の向上を図ります。 II 生徒一人ひとりの進路希望を実現するために、きめ細かな進路指導を行います。 III 生徒理解と生徒支援を充実させ心を耕す教育を行い、生徒の実態に即したキャリア教育とも連動した「生き方教育」を推進し、予防的生徒指導・予防的生徒支援に努めます。 IV 保護者や地域・小中学校・関係機関と連携し、開かれた学校づくりを推進します。		
	進路状況 就職 2 名、その他 3 名		
	部活動 体育系 1 部、文化系 2 部 運動部においては、授業後の 30 分の短い時間に、各種大会出場の目標を持って継続した活動ができている。		
	主な出身中学 1. 市立中村中 2. 大方中 3. 中村西中		
教職員数 教員 (期講及び時講含) 12 名・事務職員等 1 名			
学校の特徴	多部制単位制で普通教科を中心としたカリキュラムを編成し、基礎・基本を重視した授業を行っている。1 年次の数学・英語については、習熟度別講座編成で行い、中学の学び直しから始め、高等学校への内容に繋げる指導を行っている。 また、3 年間で卒業することを可能とするため、昼間部開放講座・通信制授業を併修することができるようにしている。学校外での学修 (主として資格取得) を積極的に推進し、卒業単位に加算するように指導している。 小規模・少人数を活かし、小学校・中学校で集団に馴染めなかった生徒を受け入れ、多くの生徒が毎日登校し、意欲的に学習活動を行っている。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立大方高等学校
(通信制 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野5507	アクセス	土佐くろしお鉄道 土佐入野駅から徒歩5分	
TEL	0880-43-1079			
通学方法	徒歩1名、鉄道11名、バイク4名、自動車28名、保護者送迎14名、その他6名			
生徒数	普通科64名 1年次13名、2年次25名、3年次16名、4年次以上10名			
校訓および校章	校訓「自主・努力・創造」 		校章  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の「大」の頭文字 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 <p>校章は、この3点を組み合わせ合わせた図案である。 大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。</p>	
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">創立13年</td> <td style="text-align: center;">スクールカラー 青</td> </tr> </table>	創立13年
創立13年	スクールカラー 青			
沿革	H17 県立高等学校再編計画(H15)により多部制単位制普通科高校として開校 (沿革コメント) 平成17年4月1日、県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 幡多地域の多部制単位制高校としてキャリア教育を実施。通信制では、全日制、定時制との併修など幅広い年齢層の学び直しの場としての役割を果たしている。			
基本情報	教育方針 日本国憲法と教育基本法の精神に基づき、国家・社会に有為な人材としての資質を高め、豊かな教養を培うとともに、心身ともに健康で自主的精神に充ちた人間を育成する。 教育重点目標 ア 学習指導の充実 イ 進路希望の実現 ウ 開発的・予防的生徒指導 エ 開かれた学校づくりの推進			
	進路状況 ・専修等2名(10.0%)・就職県内2名(10.0%)・就職県外2名(10.0%) ・その他(継続就業を含む)14名(70.0%)			
	部活動 体育系4部 バレーボール部、バドミントン部、卓球部、サッカー部 文化系1部 農業クラブ			
	主な出身中学 1.市立中村中 2.大方中 3.窪川中 4.片島中 5.宿毛中			
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)8名・非常勤職員(養護)1名			
	県西南地域における通信制の拠点校として四万十町及び幡多郡一円をエリアとしている。普通教科を中心としたカリキュラムを編成し、基礎・基本を重視した授業を行う。国語・数学については、1年次の選択科目として学校設定科目「国語トレーニング」・「数学トレーニング」を設置し、中学の学び直しから始め、高等学校への内容に繋げる指導を行っている。卒業予定者に対しては「総合的な学習の時間」の履修を通して進路意識の形成およびスキルの向上を図っている。 本校の全日制や定時制又は他校からの併修生を受け入れ、幅広く「学びの場」としての役割を担っている。近年の特徴としては、中学時代に不登校を経験した生徒の入学が増加傾向にある。そのため、個別指導や保護者面談などを数多く取り入れ教育的ニーズに応える学校づくりを行っている。前後期制によりそれぞれ単位認定を行っており、前期卒業式(9月)、後期入学式(10月)を実施している。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立幡多農業高等学校

(全日制 園芸システム科・アグリサイエンス科・グリーン環境科・生活コーディネート科)

所在地	四万十市古津賀 3 7 1 1	アクセス	土佐くろしお鉄道 古津賀駅から徒歩 10 分
TEL	0 8 8 0 - 3 4 - 2 1 6 6		
通学方法	徒歩 50 名、自転車 146 名、JR 29 名、バス 0 名、バイク 55 名、その他 56 名		
生徒数	園芸システム科(102 名)・アグリサイエンス科(84 名)・グリーン環境科(63 名) 生活コーディネート科(87 名) 合計(336 名)		
校訓 および 校章	校訓 至 誠 ・ 勤 労 礼 節 ・ 親 和 学校全貌 	校章  昭和 4 4 年に生徒・教職員より公募し決定。 台座の形は、創立当時の仮名称「ハタ」を生かしたひし形にし、農業の「N」とした。	創立 7 6 年
			スクールカラー グリーン
沿革	S16 高知県立幡多農林学校として創立 S19 私立幡多実業女子学校を施設と共に合併女子部として併設 S23 学制改革により新制高等学校高知県立幡多農業高等学校発足 S29 山奈分校設置(S38 宿毛農工高校) S35 大月分校開校(S51 廃止 宿毛高校大月分校へ) S38 高知県立幡多農工高等学校に改称 S44 高知県立幡多農業高等学校と校名変更 S63 学科改編(園芸科学科・農産科学科・林業科・生活科学科) H 6 林業科を森林科学科に学科改編 H15 学科改編(園芸システム科・アグリサイエンス科・グリーン環境科・生活コーディネート科) H23 創立 70 周年		(沿革コメント) 本校は、常に時代の要求と地域社会の要望にこたえ、特色ある教育を行い、理想の実業教育達成に邁進してきた。 地元の熱望と時代の推移・地域の懸案により分校・科を増設し校名を幡多農工高等学校と改称するが、その後の時勢の急変と地域の動向に従い、県立幡多農業高等学校の旧名に復した。 このように、本校のたどった道に曲折はあるが、農林業を主軸とする近代化に即応した地域開発にこたえる人材育成こそ創設以来の宿命としている。 現在、農業の持つ教育力を活用し、「農業を学ぶ」教育と「農業で学ぶ」教育を実践し、地域に根差し、地域のリーダーシップが取れる人材の育成に取り組んでいる。
	教育方針 産業人として崇高な理想と優れた知識・技能を有し、農業の担い手や関連産業従事者を育成するとともに、地域を支える有為な人材を育成する。 (1) 農業の教育力を最大限に活用して、心豊かな人間性を育成する。 (2) 学力の向上に努め、学科の特色を活かし、生徒の希望進路を実現させる。 (3) キャリア教育の充実を図り、生徒の生きる力を育む。		
基本情報	進路状況 大学 28 名(23.3%) 短大 14 名(11.7%) <国公立大学 3 名> 専修等 54 名(45.0%) 就職県内 14 名(11.7%) 就職県外 16 名(7.5%) その他 1 名(0.8%) ●キャリア教育の視点から、早い段階から目標設定能力や問題解決能力の向上に努めている。 また、就職試験講座といった自らのスキルアップを向上させる取り組みを行っている。		
	部活動 体育系 13 部、文化系 6 部、農業クラブ 平成 28 年度は、全国大会 3 部・四国大会 5 部及び農業クラブ四国・全国大会に出場した。		
	主な出身中学 1. 市立中村中 2. 中村西中 3. 大方中 4. 清水中 5. 佐賀中		
	教職員数 教員(期講及び時講含) 44 名・実習助手(期付含) 8 名・事務職員等 12 名		
学校の特色	生徒の夢や希望を実現できる学校 農業の持つ教育力を最大限に活用して、心豊かな人間性を育てるとともに、生徒に多くの活躍の場を提供し、自主性、自立性、生きる力等を育成して、生徒一人ひとりの将来の夢や目標が達成できる教育を実践している。 特色ある教育課程(4科・3コースの設置) 4 学科を設置し、2 年生から生徒一人ひとりの希望進路に応じて選択できる 3 つのコースを設けている。 多くの活躍の場の提供 アグリパークはたのう推進事業・アグリっ子活動支援事業などを柱とした教育活動を推進し、地域に開かれた学校、生徒の資格取得や部活動の支援、そして自然とともに歩む環境学習に努めている。		

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

高知県立中村高等学校
(全日制 普通科)

所在地	四万十市中村丸の内24	アクセス	土佐くろしお鉄道中村駅から徒歩 で約20分
TEL	0880-34-2141		
通学方法	徒歩41名、自転車256名、JR126名、バス19名、バイク49名、その他51名		
生徒数	普通科 542名 (1学年200名 2学年160名 3学年182名)		
校訓 および 校章	 <p>「不動不休の精神」 ゆるぎなき不動の信念と新しい創造、不断の 努力の大切さを表す。</p>		  <p>四万十市ゆかりの藤の複葉三本を人の 字型に配す。学校が人づくりの場であ り、三本の複葉は真・善・美を意味する。 創立116年 スクールカラー: えんじ</p>
	沿革	<p>M33 高知県立第二中学校分校として 開校</p> <p>S24 高知県立中村高等学校として発 足</p> <p>H12 創立百周年記念式典挙 行</p> <p>H14 高知県立中村中学校開校 西土佐分校創立50周年記念式 典挙 行</p> <p>H22 創立百十周年記念式典挙 行</p>	<p>(沿革コメント) 明治33年(1900年)男子校として発足、 明治41年(1908年)女子校として私立幡 多実業女子校が開校している。 平成14年、県立中村中学校が開校し、併設型 中高一貫教育校として新たなスタートを切っ た。 平成17年には韓国の木浦第一女子高等学校と 姉妹校提携した。</p>
基本 情報	<p>教育方針 旧制中学校以来の「不動不休」の精神を教育の基本とし、豊かな心と知性を身に付け、高い志を持って未来を切り拓く人材を育成する。 ビジョン: 6年間の計画的・継続的な教育活動により、生徒一人ひとりが自己の夢や目標を実現し、地域から揺るぎない信頼感のある学校となる。</p>		
	<p>進路状況 大学119 (65.4%) (内国公立大学30名) 短大3 (1.7%) 専修等48 (24.6%) 就職県内6 (3.3%) 就職県外5 (2.7%) その他1 (0.5%) 現役合格者では国公立大学には首都大学東京、東京外国語大、岡山大、徳島大、愛媛大 高知大、高知県立大、高知工科大、私立大学では津田塾大、立教大、関西大、同志社大 立命館大、関西学院大等に合格している。</p>		
	<p>部活動 体育系13部、文化系16部 平成28年度 全国大会に柔道部、野球部、弓道部、陸上部、書道部が、四国大会に柔道部 野球部、ソフトテニス部、バスケットボール部、弓道部、水泳部、陸上部、将棋部が出場した。</p>		
	<p>主な出身中学 1. 県立中村中 2. 市立中村中 3. 中村西中 4. 清水中 5. 宿毛中 教職員数 教員(期講及び時講含)65名、実習助手(期付含)1名、事務職員等6名</p>		
学校 の 特色	<ul style="list-style-type: none"> ・清流四万十川に近い古城山の麓に建つ、落ち着いた教育環境の学校である。 ・学習の達成度に応じた習熟度別学習や、希望に応じたきめ細かなカリキュラムがある。 ・大学進学講座をはじめとする補習体制が充実しており、模擬試験などを通じて、希望に応じたきめ細かな指導で生徒を支援している。 ・併設型中高一貫教育を生かした中・高合同の学校行事、学校生活や学習にピア・チューター制度を取り入れるなど、積極的に異年齢集団の交流を深めている。 ・夢を見つけ、実現するための「キャリア学習」や「朝プレ」などを通して、真の学力、生きる力の育成を目指している。 ・「なかむら未来学発信場」(キャリア学習の発表会)などを通して、地域や自分の未来について考え、語ることのできる生徒の育成を目指している。 ・「なかこう安全隊」をはじめとする地域安全活動やボランティア活動、挨拶運動に積極的に取り組み、地域から信頼される学校を目指している。 		

(平成29年5月1日現在)

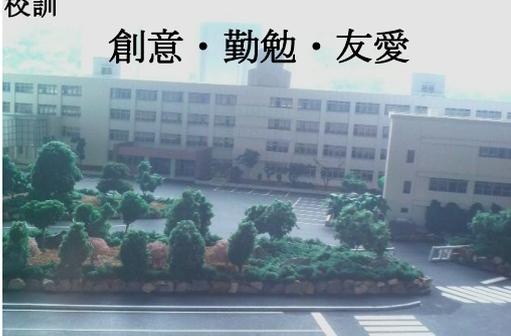
高知県立中村高等学校西土佐分校
(全日制 普通科)

所在地	四万十市西土佐津野川 2 2 3	アクセス	J R 江川崎駅から 5 k m 国道 4 4 1 号四万十市内から 3 5 k m
T E L	0 8 8 0 - 5 2 - 1 1 8 6		
通学方法	徒歩 6 名、自転車 3 0 名、バス 0 名、バイク 6 名		
生徒数	普通科 4 2 名 1 学年 9 名、2 学年 1 1 名、3 学年 2 2 名		
校訓および校章	校是・校訓 「不動不休の精神」 『ゆるぎなき不動の信念と新しい創造、不断の努力の大切さを表す』 		校章  四万十市にゆかりの藤の複葉三本を「人」の字型に配し、その中央に「高」の字を図案化したものである。学校は、人づくりの場であり、3本の葉は、「真・善・美」の意味を表す。
			分校創立 6 5 年
沿革	S26 高知県立中村高等学校津大分校 昼間定時制として設立 S33 西土佐分校と改称 S40 全日制普通科に改編 S48 現校舎完成 H 4 プール完成 H 7 体育館完成 H23 創立 60 年 H24 創立 60 周年記念式典挙行		(沿革コメント) 昭和 2 6 年、地域の高等教育の必要性を求める声を受け、働きながら学べる昼間定時制として開校する。 昭和 3 3 年には、津大村と江川崎村が合併して西土佐村となったことにより西土佐分校と校名を変更する。 昭和 4 0 年には、全日制課程普通科となり、現在に至っている。
基本情報	教育方針 一人一人が学校、地域で自分の役割と居場所を感じ、仲間と地域を大切にして夢の実現に全力で取り組める人材を育成する。 平成 2 9 年度の教育重点目標 1 基礎学力の定着 2 進路指導の充実 3 家庭・地域との連携 4 教育環境の整備 5 生徒支援の徹底		
	進路状況 大学 3 名 (21%) <内 国公立大学 0 名> 短大 1 名 (7%) 専修等 4 名 (29%) 就職県内 6 名 (43%) 就職県外 0 名 (%) その他 0 名		
	部活動 体育系 1 部 文化系 2 部 体育系： カヌー部 野球部(休部) 文化系：クッキング部 園芸部		
	主な出身中学 1 西土佐中 2 市立中村中 3 大月中 4 八束中 5 県立中村中		
教職員数 教員(期講及び時講含) 9 名・事務職員等 2 名			
学校の特徴	進路の多様性、生徒の習熟度に対応できるようカリキュラムを編成し、また、進路補習、各種資格取得などへ積極的に取り組んでいる。さらに、小規模校の利点を生かし、全ての教育活動に対して生徒一人ひとりにきめ細かな指導で支援を行い、夢の実現につなげている。 生徒会活動として、平成 2 4 年度より、生徒会を中心にチーム「NGK(西土佐グリーンキーパーズ)」を結成、清掃活動を地域と協力し実践し、地域から信頼される学校を目指している。また、ボランティア隊ラポールが、地域の保・小・中学校等、各種事業に参加し、異年齢交流の経験を積み、心豊かな人間性の醸成へとつなげ分校の存在もアピールしている。 資格取得講座の一つである「介護職員初任者研修課程」を地域へ開放し、地域の方も受講生とし 2 年間計画で公募する(平成 2 9・3 0 年度)。 部活動では、近くを流れる四万十川を練習場とするカヌー部が、高知県高等学校体育大会で優勝し、四国大会・インターハイへ出場している。		

(平成 2 9 年 5 月 1 日現在)

高知県立宿毛工業高等学校

(全日制 機械科〔機械専攻・自動車専攻〕・建設科〔土木専攻・建築専攻〕・電気科・情報技術科)

所在地	宿毛市平田町戸内2272-2		アクセス	土佐くろしお鉄道 工業団地駅から徒歩15分 高知西南交通バス路線有り
TEL	0880-66-0346			
通学方法	徒歩36名、自転車86名、鉄道51名、バス16名、バイク154名、その他22名			
生徒数	機械科機械専攻48名、機械科自動車専攻52名、建設科土木専攻58名、 建設科建築専攻54名、電気科52名、情報技術科101名 1学年120名、2学年128名、3学年117名 合計365名			
校訓および校章	校訓  校舎玄関付近(建築研究部作成模型)		校章  宿毛のSを図案化したものです。そのとんがりは四方八方へと発展していく姿を象徴したもので、工業高校らしく、science(科学)を表したものであります。	
			創立63年	スクールカラー えんじ色
沿革	S29 高知県立幡多農業高等学校山奈分校として開校 S38 県立宿毛農工高等学校認可 S42 県立幡多農工高等学校と統合 S44 県立宿毛工業高等学校と改称 H17 学科改編により4科4専攻とする H23 「専門科目選択コース」「国公立進学科目選択コース」「公務員受験科目選択コース」の科目選択制導入 H26 創立60周年記念式典挙行		(沿革コメント) 昭和29年、農業の近代化と農業後継者育成を目的として、県立幡多農業高等学校山奈分校として設立されました。その後、時代の推移とともに工業科設置を望む声の高まりにより、昭和44年に工業専門の県立宿毛工業高等学校として改称し再発足しました。西南地域唯一の工業高校で、創立63年をむかえ、卒業生は7千人を超え、国内はもとより海外でも活躍しています。	
基本情報	教育方針 「人格の涵養を図るとともに、よき社会人としての資質を養い、産業と文化の発展に貢献できる人材の育成」のもと、「次世代の要請に応える人材を育む学校」として、生徒一人ひとりが洗練された感性と豊かな心を身につけ、優れた能力を伸ばさせ確かな学力を定着することによって、生徒・教職員が目標を立て、自己実現に挑戦し、達成感を感じ、誇りと自信を持てる学校であるとともに、生徒・保護者や地域社会から愛され信頼される学校を目指しています。			
	進路状況 ・大学11名(9%)・短大1名(1%)・専修等37名(31%)・就職県内25名(21%) ・就職県外41名(34%)・専攻科0名(0%)・その他5名(4%) 国公立大学への進学、公務員としての就職、企業への就職と幅広い進路実現が可能			
	部活動 体育系13部、文化系11部、同好会1部 全国大会出場(弓道団体・個人、ソフトテニス個人、柔道個人) 四国大会出場(弓道個人、ソフトテニス団体・個人、柔道個人、水泳個人)			
	主な出身中学 1. 中村中 2. 宿毛中 3. 中村西中 4. 大方中 5. 大月中			
教職員数 教員(期講及び時講含)52名・実習助手5名・事務職員等5名				
学校の特色	<学科構成> 機械科(機械専攻・自動車専攻)・建設科(建築専攻・土木専攻)・電気科・情報技術科の4学科4専攻で構成されています。平成23年度入学生から「専門科目選択コース」「国公立進学科目選択コース」「公務員受験科目選択コース」の科目選択制が導入され、進路の実現をサポートしています。 <資格取得> 危険物取扱者・ガス溶接技能講習・技能検定機械加工・3級自動車整備士・2級土木施工管理技術検定・2級建築施工管理技術検定・電気工事士・第3種電気主任技術者・ITパスポートなど工業に関するたくさんの資格を取得できます。卒業後は、スペシャリストとして活躍しています。 <進路> 県内外の機械・自動車・建設・建築・電気関連の企業に技術・技能職で就職できます。もちろん、公務員希望の人や国公立大学(工学部系)希望の生徒の皆さんの夢も叶えます。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立宿毛高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	高知県宿毛市与市明5-82	アクセス	土佐くろしお鉄道「東宿毛駅」から徒歩10分	
TEL	0880-63-2164			
通学方法	徒歩28名、自転車81名、くろ鉄38名、バス23名、バイク56名、その他42名			
生徒数	総合学科268名 1学年84名、2学年82名、3学年102名			
校訓および校章	校訓 誠実 勤勉 進取 	校章  <p>南海の由緒ある土地を表すのに、ここに自生し、万葉の古歌にも見える「はまゆう」を選び、新しい時代の曙を意味して「電子の軌道」を採った。この2つを組み合わせて学園の象徴とすることによって、文理の道を究め、美と真実を追求する学園の大いに興ることを願って作成。</p>		
			創立73年	スクールカラー ブルー
沿革	◎男子校の部 S19.4 高知県立宿毛中学校として開校 ◎女子校の部 S21.5 高知県立中村高等女学校宿毛分教場として開校 ◎高等学校の部 S24.4 高知県立宿毛高等学校として発足 5 定時制小築紫分校開校 S48.4 定時制(夜間)発足 4 大月分校開設 H12.3 小築紫分校閉校 H15.4 総合学科開設 H26.3 大月分校閉校	(沿革コメント) 戦時中の昭和19年4月に高知県立宿毛中学校として発足し、戦後の学制改革により宿毛高等学校と改称された。定時制課程の併設、小築紫分校、大月分校の開設と県下でも数少ない総合高校として発展してきた。 その後、平成12年に小築紫分校と平成26年に大月分校が閉校、そして平成15年には県西部唯一の総合学科として、多彩な選択科目を設置し、生徒一人一人の興味関心、進路希望に沿った教育を行っている。		
基本情報	教育方針 生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人としての真の学力・生きる力を持った健全な人材の育成に努める。 教育目標 (1) 学力の向上 (2) 進路希望の実現 (3) 心身ともに健全な人間性の涵養(育成)			
	進路状況 大学10名(11.5%) <内 国公立大学2名> 短大7名(8.0%) 専修等35名(40.2%) 就職県内19名(21.3%) 就職県外11名(12.6%) その他5名(5.7%)			
	部活動 体育系12部、文化系12部、 平成28年度は、四国大会に相撲・陸上・柔道・ソフトテニス・水泳、全国大会に相撲・ビーチバレー男子が出場した。			
	主な出身中学 1. 宿毛中 2. 片島中 3. 大月中 4. 東中 5. 中村西中			
教職員数 教員(期講及び時講含)47名・実習助手1名・事務職員等6名				
学校の特徴	高知県の西の端、宿毛市に位置しており、昭和19年に創設され、今年で73年目を迎えた。創立以来建学の精神として、自主・自律を重んじる「自照館精神」を受け継ぎ、「誠実」「勤勉」「進取」を校訓としている。「心豊かで、心身ともに健康で、自ら判断して正しく行動できる人間を育成する」ことを教育方針に掲げ、これまで多くの卒業生を社会に送り出している。 また、総合学科として15年目になるが、総合学科特有の多彩な選択科目を設置し、生徒一人一人の興味や関心、進路希望に沿った教育を行っている。1年次には「産業社会と人間」という授業で、体験的、実践的な学習を通じて、自己の進路を考えることを目的に年間を通じてプレゼン指導、上級学校訪問等を行っている。2、3年次では「産業社会と人間」の学習成果のうえに立ち、生徒が自分の将来を主体的に考えるため、職場体験学習などを通して、興味関心のある分野を見つけ、研究、探求、創造する能力を身につけるための学習である「自照」を行っている。			

(平成29年5月1日現在)

高知県立宿毛高等学校
(定時制 普通科)

所在地	宿毛市与市明5 - 82	アクセス	土佐くろしお鉄道「東宿毛駅」から徒歩10分
TEL	0880 - 63 - 2164		
通学方法	徒歩2名 自転車1名 バイク10名 自家用車5名 汽車1名 その他6名		
生徒数	普通科(25名) 男子17名 女子8名		
校訓および校章	校訓 誠実 勤勉 進取 	校章  <p>南海の由緒ある土地を表すのに、ここに自生し、万葉の古歌にも見える「はまゆう」を選び、新しい時代の曙を意味して「電子の軌道」と採った。この2つを組み合わせて学園の象徴とすることによって、文理の道を究め、美と真実を追求する学園の大いに興ることを願って作成。</p>	
		定時制創設 69年	スクールカラー ブルー
沿革	S23年6月 定時制普通科(夜間部)開設 S24年4月 同(夜間部・昼間)開設 S48年4月 夜間部のみの定時制に改編 H19年4月 単位制高校に改編	(沿革コメント) 戦前より地元の有志によって、全国唯一の「定時制中学」を開設しており、新制高校となってからも「昼間定時」「夜間定時」と発展してきた。その間に、多くの有益な人材を排出している。昭和48年から、夜間のみの定時制となり、平成19年度に「単位制高校」として改編し、現在に至っている。	
基本情報	教育方針 (1)勤労青少年の環境と、地域社会の特質に充分即応し、社会人として必要な高校の基礎学力を充実させ、積極的に勤労と学業を両立させるよう務める。 (2)公德心を養い、秩序と節度を重んじ、他を敬愛する豊かな人間性の育成に務める。 (3)創意と工夫によって不備を克服し、望ましい集団活動を通して、積極的に人生をたくましく生き抜く力の涵養をはかる。		
	進路状況 平成28年度卒業生11名 進学1名 専門学校1名 就職8名 県内7名 県外1名		
	部活動 バドミントン部 卓球部 陸上部 サッカー部		
	主な出身中学 1. 宿毛中 2. 片島中 3. 大月中 4. 中村中 5. 愛南中		
	教職員数 教員 11名(管理職・講師含) 事務職員等1名		
学校の特色	学校は県西部の宿毛市にあり、生徒は広く幡多郡一円から通学しており、愛媛県からの通学生もいる。男子生徒が多い傾向があるが、日々の高校生活では年齢や年次に関係なく交流があり、良好な人間関係ができています。また、約7割の生徒が昼間仕事をしているが、同じ職場で働く仲間も多く、学校生活以外にも様々な場面で助け合い、年次を越えアドバイスを送るなど良好な人間関係ができています。 学習面では、専門教科として8単位の商業に関する科目を設置し、資格取得などにも取り組んでいる。また、過去に学校生活になじめなかった経験のある生徒や、学習が苦手であった生徒も「学び直し」の気持ちを持って意欲的に学習や補習に取り組んでいる。そして近年では定通併修制度を使って3年間での卒業を目指す生徒もいる。 近年生徒数が半減したが、少人数の特性を生かし、教職員と生徒が和やかな雰囲気なかで、進路実現に向けて一人ひとりに合った高校生活を送れるよう生徒支援に力を入れている。 合わせて教育振興会をはじめ、地域からの温かい支援も受け、様々な学びの機会のある学校づくりを推進している。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立清水高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高知県土佐清水市加久見 893-1	アクセス	土佐中村駅より車で50分 西南交通バス路線あり
TEL	0880-82-1236		
通学方法	徒歩22名、自転車65名、バス5名、バイク28名、その他22名		
生徒数	普通科142名 1学年47名、2学年47名、3学年48名		
校訓 および 校章	校訓 民主主義の理念、自由・平等・博愛・寛容 		校章  水平は水を示し、四水は清水に通ずると共に民主主義の自由・平等・博愛・寛容の四精神を表す。
			創立68年 スクールカラー ウルトラマリン (南海の潮色)
沿革	S22. 2. 1 高知県立中村中学校・同中村高等女学校清水分教場として開設 S24. 9. 1 高知県立清水高等学校として独立 S29. 4. 7 定時制課程認可 S38. 4. 1 水産に関する(漁業科)設置認可 H7. 4. 10 アメリカ、フェアハイブン高校と姉妹校締結 H11. 3. 31 水産に関する学科(漁業科)閉科 H21. 11. 6 創立60周年記念式典挙行		(沿革コメント) 戦後の平和国家建設には教育が第一という地域の強い理念の下、地域住民による全額寄付で新校舎を落成させ昭和24年に独立。 地域の特性を活かし昭和38年に漁業科を開設する。時代の変化に伴い平成11年漁業科を廃科、少子化、経済不況の波を受け生徒数は減少しているものの、地域の支援を全面的に受け、地域の高等教育を支えている。
基本情報	教育方針 教育基本法及び学校教育法の精神に則り、社会に有為な人材としての資質と教養を高め、豊かな人間性と実践力を身につけ、心身ともに健康で、地域社会に貢献する人間を育成する。		
	進路状況 大学9名(22.5%) <内 国公立大学2名> 短大3名(7.5%) 専修等18名(45.0%) 就職県内名3名(7.5%) 就職県外7名(17.5%) その他0名(0.0%) 大学・短大・専修学校等で75.0%、就職25.0%であった。		
	部活動 体育系11部、文化系9部 なぎなた部(四国選手権大会：団体3位・個人優勝、全国高等学校総合体育大会：団体出場、国民体育大会：団体・演技出場、全国高等学校選抜大会：個人出場)、陸上部(800m、1500m、3000m 四国大会出場)		
	主な出身中学 1. 清水中		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)27名・事務職員等5名		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土佐清水市唯一の高等学校として、地域に根ざし、ボランティア活動や環境美化活動等に積極的に取り組み、心豊かな人間性と実践力を身につけ、社会に貢献する志をもつ人材を育てます。 ○ 1年次には国語・数学・英語で習熟度別少人数制を、2・3年次にはコース制を採用し、生徒一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい指導によって進路保障を図ります。 ○ アメリカ、フェアハイブン高校と姉妹校の関係にあり、同校及びフェアハイブンとの交流を通じて国際理解教育を推進し、幅広い視野を有した人材の育成に努めます。 		
	【教育内容】 (I型類型)：就職や専門学校、文系大学・短大進学希望生徒を対象とし、芸術科目・家庭科目の履修や商業科目・情報科目による資格取得等が可能なコースです。 (II型類型)：センター試験受験や国公立大学・理数系大学、それに準ずる専門学校進学後の学習科目対応として、国・社・数・理・英に関する科目を多く履修できるコースです。		

(平成29年5月1日現在)

高知県立清水高等学校
(定時制 普通科)

所在地	高知県土佐清水市加久見 893-1	アクセス	土佐中村駅より車で50分 西南交通バス路線あり
TEL	0880-82-1236		
通学方法	徒歩5名、自転車5名、バイク9名、自動車2名		
生徒数	普通科21名 1年次2名、2年次7名、3年次6名、4年次6名		
校訓および校章	校訓 民主主義の理念、自由・平等・博愛・寛容 		校章  水平は水を示し、四水は清水に通ずると共に民主主義の自由・平等・博愛・寛容の四精神を表す。
			創設64年 スクールカラー ウルトラマリン (南海の潮色)
沿革	S22. 2. 1 高知県立中村中学校・同中村高等女学校清水分教場として開設 S24. 9. 1 高知県立清水高等学校として独立 S29. 4. 7 定時制課程認可 S38. 4. 1 水産に関する(漁業科)設置認可 H7. 4. 10 アメリカ、フェアヘーブン高校と姉妹校締結 H11. 3. 31 水産に関する学科(漁業科)閉科 H21. 11. 6 創立60周年記念式典挙行		(沿革コメント) 戦後の平和国家建設には教育が第一という地域の強い理念の下、地域住民による全額寄付で新校舎を落成させ昭和24年に独立。 地域の特性を生かし昭和38年に漁業科を開設する。時代の変化に伴い平成11年漁業科を廃科、少子化、経済不況の波を受け生徒数は減少しているものの、地域の支援を全面的に受け、地域の高等教育を支えている。
基本情報	教育方針 教育基本法及び学校教育法の精神に則り、社会に有為な人材としての資質と教養を高め、豊かな人間性と実践力を身につけ、心身ともに健康で、地域社会に貢献する人間を育成する。		
	進路状況 専修等2名(66.7%) 就職県外1名(33.3%)		
	部活動 体育系3部 陸上部 バドミントン部 卓球部 全国高等学校定時制通信制体育大会第49回卓球大会出場 第64回高知県定時制通信制高等学校体育大会 卓球の部女子個人第1位 陸上競技の部男子100m走第1位 男子走幅跳第1位		
	主な出身中学 1. 清水中 2. 三崎中 3. 東中		
教職員数 教員(期講及び時講含)9名 ・事務職員等1名			
学校の特色	○単位制を活かした教育を推進しています。 大方高校通信制との併修制度を利用して在籍期間3年で卒業することも可能です。単位制は生徒にとってより学びやすい制度となっています。 ○地域と共に子どもたちを育てています。 土佐清水市は地域連携に大変熱心な地域です。子どもたちに係わる情報を地域で共有し、地域住民の声に耳を傾け、地域と共に子どもたちを育てることを目標に努力を行っています。 ○定時制教育振興会による支援が充実しています。 270名近い市民の皆様、団体に支えられた清水高校定時制教育振興会があります。集められた会費は、生徒一人一人への支援として活用されており、地域の方々に温かく見守られながら学ぶ事ができています。 【教育内容】 普通教科の科目を中心とした教育課程を設置しており、基礎的な学力を身につける事を目標に重点的に取り組んでいます。		

(平成29年5月1日現在)